

令和6年度 教職員研修計画

大阪市教育委員会
大阪市総合教育センター

令和6年4月1日

大 目 次

教職員研修計画について	1
主な教職員研修体系	2
研修の心得	3
研修受講の受講にあたって	4
教職員研修計画(教諭等)	7
教職員研修計画(養護教諭等)	37
教職員研修計画(栄養教諭等)	51
教職員研修計画(管理職)	61

教職員研修計画について

教職員に対する研修は、「人間尊重の精神を基盤に、職務を遂行するために必要な知識や技能など、資質や能力の向上を図るとともに、教育に対する使命感など教職員の意識改革を促し、学校園の教育力の充実を支援する」ことを基本方針とし、校種・経験年数・課題等に応じて、体系的・計画的に実施しています。

この教職員研修計画は、「大阪市教育振興基本計画」を踏まえ、各校園の教育実践に資するために、大阪市教育委員会・大阪市総合教育センターが計画している研修について示したものです。

1 教職員研修計画は、「主な教職員研修体系」の区分で構成し、職種別（管理職・教諭等・養護教諭等・栄養教諭等）で構成しています。

教職員研修計画（管理職）	⇒	管理職に関する研修を記載
教職員研修計画（教諭等）	⇒	教諭等に関する研修を記載
教職員研修計画（養護教諭等）	⇒	養護教諭等に関する研修を記載
教職員研修計画（栄養教諭等）	⇒	栄養教諭等に関する研修を記載

2 各研修について、「研修のねらい」、「ステージ」、「実施月」、「実施方法」、「資質の向上に関する指標」を示し、受講者が自らの課題等に応じて選択できるようにしています。

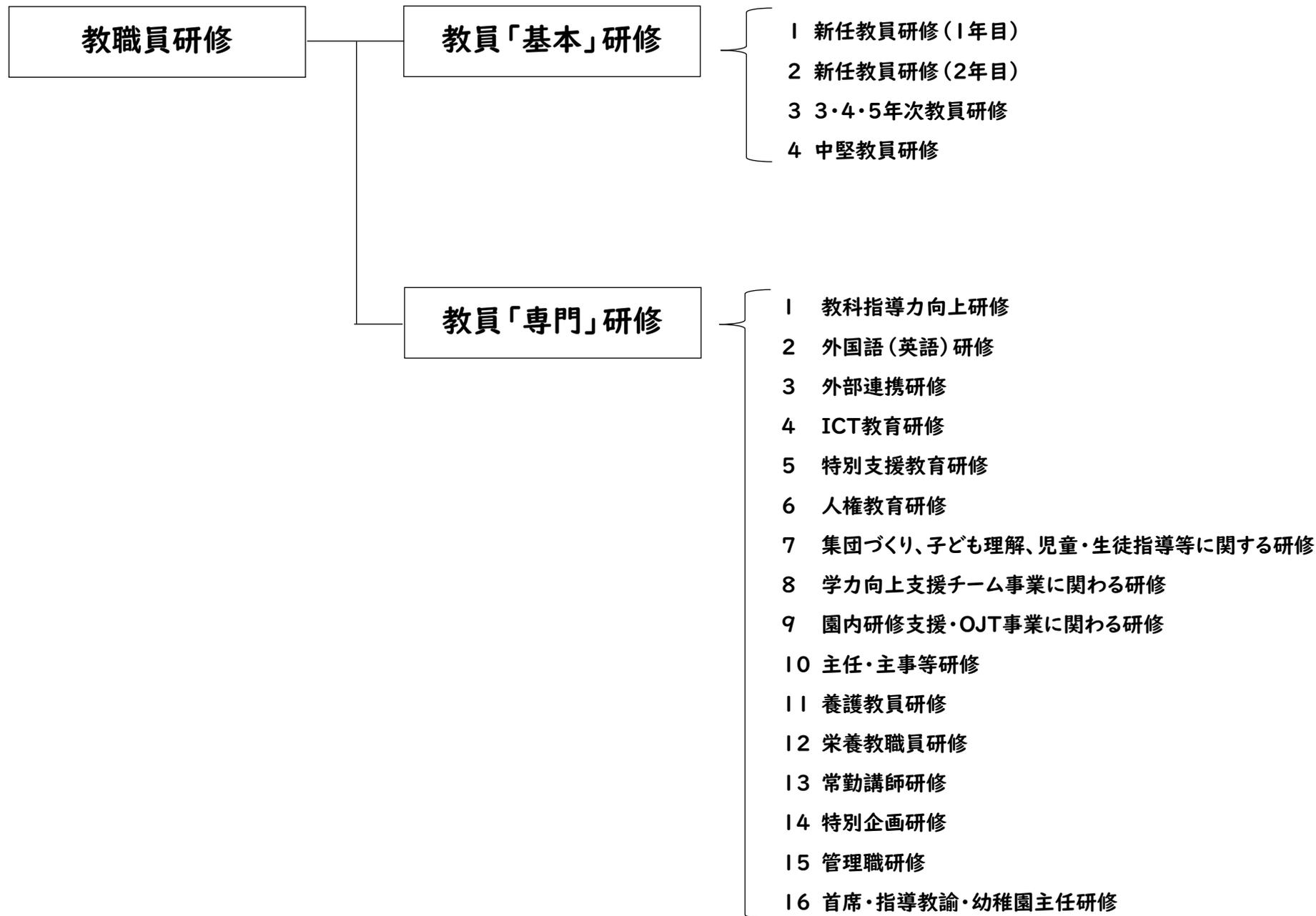
※教職員研修計画の「資質の向上に関する指標」の項目に関する記号について

- : 研修のねらいの中心となる内容の項目
- : 研修のねらいに含まれる内容の項目

3 各研修に設定しているステージについては、受講対象のめやすとするためのものです。（ステージ対象以外の方の受講も可能です）

4 この教職員研修計画に記載されたもの以外に、大学等と連携した研修などがあります。

令和6年度 主な教職員研修体系



研修の心得～教師力を高めるために～

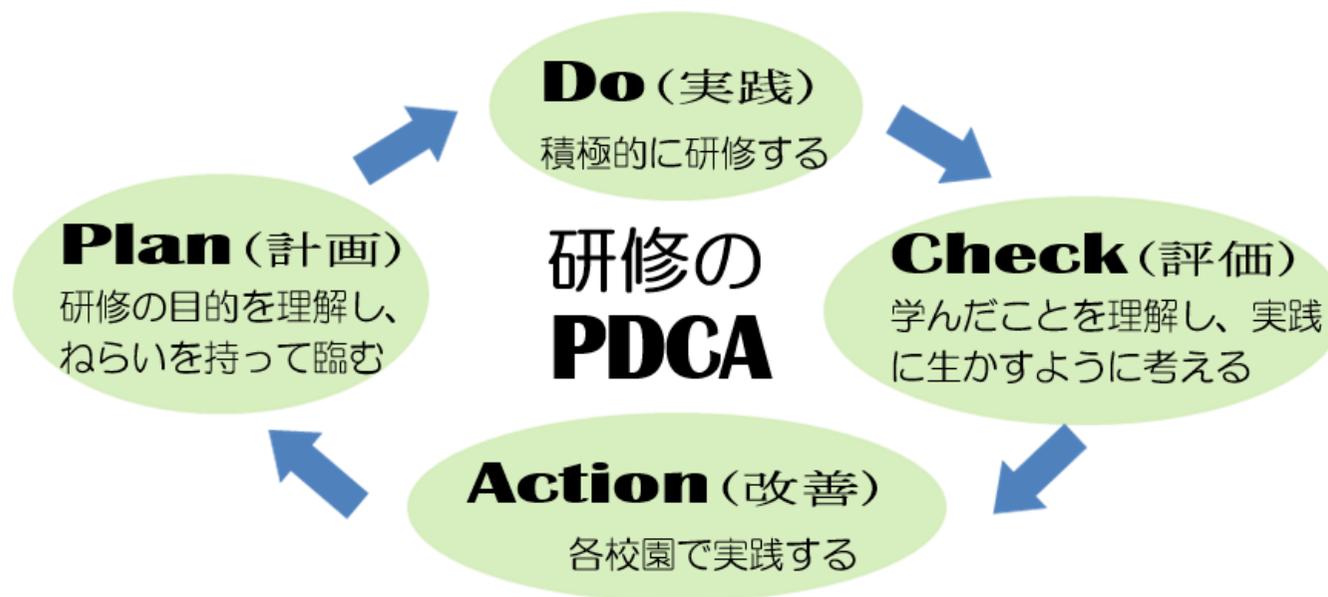
教員にとって研修とは…

私たち教員は、かけがえのない子どもの今、そして未来の成長に対して大きな責任を持ちます。大阪府教育振興の基本理念は、「全ての子どもが心豊かに力強く生き抜く力を備え、健やかに成長し自立した個人として自己を確立することをめざします。あわせて、グローバル化が進展した世界において、多様な人々と協働しながら持続可能な社会を創造し、その担い手となることをめざします。」となっております。教員は各校園での実践とともに、常に指導力を高めるために研修を行い、自己研鑽を積まなくてはなりません。このことは、「教育基本法第9条」において、教員としての使命の自覚、研究と修養に励む必要性として明示されています。

教育基本法 第9条

- 1 法律に定める学校の教員は、自己の崇高な使命を深く自覚し、絶えず研究と修養に励み、その職責の遂行に努めなければならない。
- 2 前項の教員については、その使命と職責の重要性にかんがみ、その身分は尊重され、待遇の適正が期せられるとともに、養成と研修の充実が図られなければならない。

研修をより充実させるためには、自らを高め伸ばそうとする向上心が大切です。次の PDCA サイクルに沿って取り組みましょう。



研修の受講にあたって

- 受講前には、各研修の内容・事前課題を確認し、主体的に受講します。
- 教育者、社会人として適切な服装、態度で研修に臨みます。
- 無遅刻が原則です。交通経路を確認し、到着時間にはゆとりをもつようにします。

【事前準備】

1. 研修のねらい、開催月などは教職員研修計画で確認してください。
開催月および研修の実施方法を変更する場合があります。変更情報については最新の月別研修一覧表または事務連絡による通知により確認してください。
2. 研修によっては、事前にマイ・ラーニング・レコード（略称「My・reco（マイ・レコ）」）（研修受講システム）での受講申請が必要な場合があります。最新の月別研修一覧表または事務連絡による通知により確認してください。
3. オンライン研修を受講する際は、事前の接続テスト等の指示がある場合は必ず実施してください。受講当日は開始時刻に遅れることがないよう、機器等の準備をしておいてください。

【持ち物】

4. 筆記用具をはじめ、事前課題等指定があった場合はそれらを持参してください。
5. 職員証を持参してください。研修中は必ず職員証を着用してください。
総合教育センターのある大阪教育大学天王寺キャンパス構内に入る際、入構ゲートにて職員証が必要となります。

【研修への参加】

6. 病気、緊急の業務その他やむを得ない事情により研修に参加することができない場合は管理職を通じて、月別研修一覧表の担当者欄に記載の担当者に連絡をしてください。

7. 研修受講に係る配慮事項がある場合は、「受講に係る配慮事項申請書」を研修担当者へ提出してください。
※「受講に係る配慮事項申請書」のダウンロードの仕方
SKIPポータル
「連絡・書庫」>「書庫」>「閲覧」>「教育委員会」>「総合教育センター」
>「教育振興担当」>『教員「基本」研修（年次研修）』
8. 研修会場へは余裕をもって到着するよう心掛けてください。
9. 受付時間までに指定された研修室へ行き、受付してください。研修で使用する研修室は大阪市総合教育センター1階エントランスホールの電光掲示板に表示しています。
10. オンライン研修は、静かに研修ができる場所で受講してください。また、緊急の場合を除いて、受講中に受講場所を離れることがないようにしてください。

※ホームページなどへの掲載を目的として、写真を撮影しますのでご了承ください。

<総合教育センターの利用について>

- ・ 総合教育センターに駐輪場はありません。(大阪教育大学天王寺キャンパス内の駐輪場に停めることはできません。)
- ・ 総合教育センター内での飲食は原則禁止です。
- ・ 研修時のゴミはすべて持ち帰ります。
- ・ 総合教育センター内及び周辺は禁煙です。
- ・ 研修中の緊急時には研修担当の指示に従って、行動してください。

<大阪市に「暴風警報」や「特別警報」等の発令時における研修の実施について>

- ・ 午前7時の時点で、次に掲げる態様及び規模の災害等が発生した場合には、当日開催予定の研修等を中止します。
- ・ 午前7時を過ぎて研修等開始時刻までに、次に掲げる態様及び規模の災害等が発生した場合についても、当日開催予定の研修等を中止します。
- ・ 研修開始後、次に掲げる態様及び規模の災害等が発生した場合は、速やかに研修等を中止します。

ア 大阪市において、「暴風警報」若しくは「暴風雪警報」又は「特別警報」が発表された場合。

イ 大阪市のいずれかの地域において河川氾濫等の高齢者等避難、避難指示の発令があった場合。

ウ 大阪市内のいずれかの地域において、震度5弱以上の地震が発生(気象庁発表)した場合。

エ 「南海トラフ地震に関連する情報」(臨時)のうち、「観測された現象を調査した結果、南海トラフ沿いの大規模な地震発生の可能性が平常時に比べて、相対的に高まったと評価された場合」に関するもの(気象庁発表)が発表された場合。

ただし、上記ア～エにかかわらず、大阪市災害対策本部長である市長より全市に「臨時休業措置」等の指示があった場合は、研修等の措置について、別途、大阪市総合教育センターWeb ページに掲載するとともに、SKIP メールにて連絡します。



教職員研修計画

教諭等

小 目 次

◇ 教員「基本」研修	
1 新任教員研修（1年目）	9
2 新任教員研修（2年目）	13
3 3・4・5年次教員研修	16
4 中堅教員研修	19
◇ 教員「専門」研修	
1 教科指導力向上研修	21
2 外国語（英語）研修	23
3 外部連携研修	23
4 ICT教育研修	24
5 特別支援教育研修	25
6 人権教育研修	28
7 集団づくり、子ども理解、児童・生徒指導等に関する研修	28
8 学力向上支援チーム事業に関わる研修	29
9 園内研修支援・OJT事業に関わる研修	29
10 主任・主事等研修	30
13 常勤講師研修	32
14 特別企画研修	34
16 首席・指導教諭・幼稚園主任研修	35

◇ 教員「基本」研修

研修区分	I 新任教員研修（1年目）【令和6年度採用】
目的	教育公務員特例法第23条の規定により職務の遂行に必要な事項に関する実践的な研修により、実践的指導力と使命感を養うとともに幅広い知見の獲得を図る。

【共通研修】									
対象校種	幼稚園・小学校・中学校								
対象者	令和6年度採用教諭								
備考									
研修名	研修のねらい				ステージ	実施月	実施方法		
新任教員研修（1年目）	1	① ⑥	・新任教員研修の意義・目的、内容等を理解し、研修に対する意欲の向上をめざすとともに、教員としての責務を自覚し、充実した教育活動を実践するために必要な基礎的知識を習得する。				1	4	集合
	2	① ④	・仲間どうしが支え合い高め合う「学び」を実現するための、集団づくりの重要性についての知識を習得する。 ・学校給食を通して子どもに望ましい食習慣を身に付けさせるための基本的な事項について知識を習得する。				1	6	オンデマンド 集合
	3	① ④	・保護者、地域と互いに協力し合い、子どもの育成にあたるための信頼関係構築についての基本的な考え方を習得する。 ・心身ともに健康を維持し学校教育に携わることをめざし、メンタルヘルスに関する知識を習得する。				1	8	オンデマンド 集合
	4	① ④	・本市校園における人権教育の現状と課題を知り、様々な人権問題についての知識を習得する。 ・協議を通して連続する校園種間での連携した教育の重要性や各校園種の課題等を理解し、広い視野に立った判断力を高めたり、指導力を身に付けたりするための方法を習得する。				1	10～11	オンデマンド 集合
	5	① ④	・公務員としての使命を自覚し、コンプライアンス意識を醸成する。 ・1年間の自己の実践を振り返り、成果と課題を明確にすることを通じて、より実践的な指導力を高めるための方法を習得する。				1	1	オンデマンド 集合

基本的資質		子ども理解														学習指導						組織の運営と参画						
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
						○	○	○	○	●	○	○	○	○				○						○	○	○	○	
○	●				○																		○	●	○	○	○	
			●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					○									●
●	○			○	○										○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●

【校園種別職種別研修】								
対象校種	幼稚園							
対象者	令和6年度採用教諭							
備考								
研修名	研修のねらい				ステージ	実施月	実施方法	
幼稚園新任教員研修	1	・子どもの興味・関心を踏まえた保育環境の工夫を図るために、先輩教員の保育を参観し、講義・実技研究等から自身の保育改善に関する指導方法を習得する。				1	6	集合
	2	・指導者の教育的意図をもった働きかけについて学ぶとともに、研究保育の重要性を理解して積極的に取り組むために、保育参観、講義、研究協議等を通して、保育の指導方法を習得する。				1	11	集合
	3	・子どもの発達段階や活動状況をとりえて個に応じた保育が行えるために、保育参観・講義・研究協議等を通し、公平かつ受容的、共感的な態度で子どもと関わる保育の指導方法を習得する。				1	1	集合

基本的資質						子ども理解														保育					組織の運営と参画				
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26				
		○		○	○	○	○	○	○	●				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
				○	○	○		○	○	○				○	●	○	○	○	○	○							○		
				●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

対象校種		小学校																																			
対象者		令和5年度採用教諭																																			
備考		全ての研修を受講する。																																			
研修名		研修のねらい			ステージ	実施月	実施方法	基本的資質						子ども理解						学習指導						組織の運営と参画											
								1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	
小学校社会科新任教員研修	① ⑤ ⑦	・社会科の授業研究に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、社会科の指導に係る工夫改善の方法を習得する。			1	9	オンデマンド 集合					○	○											○	●	○	○	○	○	○	○						○
小学校生活科新任教員研修	① ⑤ ⑦	・生活科の授業研究に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、生活科の指導に係る工夫改善の方法を習得する。			1	8~9	オンデマンド 集合					○	○											○	●	○	○	○	○	○	○						○
小学校音楽科新任教員研修	① ⑤ ⑦	・音楽科の授業研究に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、音楽科の指導に係る工夫改善の方法を習得する。			1	11~12	オンデマンド 集合					○	○											○	●	○	○	○	○	○	○						○
小学校家庭科新任教員研修	① ⑤ ⑦	・家庭科の授業研究に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、家庭科の指導に係る工夫改善の方法を習得する。			1	6	オンデマンド 集合					○	○											○	●	○	○	○	○	○	○					○	○
小学校総合的な学習の時間新任教員研修	① ⑤ ⑦	・総合的な学習の時間の授業研究に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、総合的な学習の時間の指導に係る工夫改善の方法を習得する。			1	10	オンデマンド 集合					○	○											○	●	○	○	○	○	○	○						○
小学校特別活動新任教員研修	① ⑤ ⑦	・特別活動の授業研究に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、特別活動の指導に係る工夫改善の方法を習得する。			1	6~7	オンデマンド 集合					○	○											●	○	○	○	○	○	○	○						○

対象校種		中学校																																						
対象者		令和5年度採用教諭																																						
備考		教科の研修については、担当する教科の研修を受講する。●のついている研修はすべての教科担当教員が受講する。																																						
研修名		研修のねらい			ステージ	実施月	実施方法	基本的資質						子ども理解						学習指導						組織の運営と参画														
								1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29				
中学校国語科新任教員研修	3	・国語科の授業研究に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、国語科の指導に係る工夫改善の方法を習得する。			1	9	オンデマンド 集合					○	○																											○
中学校社会科新任教員研修	3	・社会科の授業研究に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、社会科の指導に係る工夫改善の方法を習得する。			1	9	オンデマンド 集合					○	○																											○
中学校数学科新任教員研修	3	・数学科の授業研究に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、数学科の指導に係る工夫改善の方法を習得する。			1	9	オンデマンド 集合					○	○																											○
中学校理科新任教員研修	3	・理科の授業研究に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、理科の指導に係る工夫改善の方法を習得する。			1	9	オンデマンド 集合					○	○																											○
中学校音楽科新任教員研修	3	・音楽科の授業研究に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、音楽科の指導に係る工夫改善の方法を習得する。			1	9	オンデマンド 集合					○	○																											○
中学校美術科新任教員研修	3	・美術科の授業研究に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、美術科の指導に係る工夫改善の方法を習得する。			1	9	オンデマンド 集合					○	○																											○
中学校保健体育科新任教員研修	3	・保健体育科の授業研究に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、保健体育科の指導に係る工夫改善の方法を習得する。			1	9	オンデマンド 集合					○	○																											○
中学校技術・家庭科（技術分野）新任教員研修	3	・技術・家庭科（技術分野）の授業研究に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、技術・家庭科（技術分野）の指導に係る工夫改善の方法を習得する。			1	7	オンデマンド 集合					○	○																											○
中学校技術・家庭科（家庭分野）新任教員研修	3	・技術・家庭科（家庭分野）の授業研究に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、技術・家庭科（家庭分野）の指導に係る工夫改善の方法を習得する。			1	9	オンデマンド 集合					○	○																											○
中学校外国語科（英語）新任教員研修	3	・外国語科（英語）の授業研究に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、外国語科（英語）の指導に係る工夫改善の方法を習得する。			1	9	オンデマンド 集合					○	○																											○
●中学校総合的な学習の時間新任教員研修		① ② ③	・総合的な学習の時間の授業研究に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、総合的な学習の時間の指導に係る工夫改善の方法を習得する。			1	7	オンデマンド 集合					○	○																										○
●中学校特別活動新任教員研修		① ② ③	・特別活動の授業研究に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、特別活動の指導に係る工夫改善の方法を習得する。			1	7	オンデマンド 集合					○	○																										○

対象者		令和5年度採用特別支援学級担当教員																																							
備考		全ての研修を受講する。●のついている研修はすべての教科担当教員が受講する。																																							
研修名		研修のねらい			ステージ	実施月	実施方法	基本的資質						子ども理解						学習指導						組織の運営と参画															
								1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29					
中学校特別支援学級新任教員研修（2年目）	4	・特別支援学級担任としての指導力を高めるために、事例をもとにした協議を通して、効果的な指導方法を習得する。			1	10	集合					○	○	○	○	○	○																						●		
●中学校総合的な学習の時間新任教員研修		① ② ③	・総合的な学習の時間の授業研究に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、総合的な学習の時間の指導に係る工夫改善の方法を習得する。			1	7	オンデマンド 集合					○	○																											○
●中学校特別活動新任教員研修		① ② ③	・特別活動の授業研究に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、特別活動の指導に係る工夫改善の方法を習得する。			1	7	オンデマンド 集合					○	○																											○

研修区分	3 3・4・5年次教員研修
目的	教員としての高い専門的知識・技能を習得し、自己の指導力向上を図る。

対象校種	幼稚園
対象者	3・4・5年次教員研修該当者
備考	

研修名	研修のねらい	ステージ	実施月	実施方法
3・4・5年次幼稚園教員研修	・自己の幼稚園組織における役割について意識を高めるとともに、幼稚園教員としての高い専門的知識・技能を習得する。	2	1	集合
3・4・5年次幼稚園特別支援教育研修	・配慮を要する子どもに対する基礎的なアセスメント方法、指導方法や支援方法を習得する。	2	8	オンデマンド
コンプライアンス・人権教育研修(3年次)	・教育公務員としての使命や責任、守らなければならない法令等を理解し、法令遵守の中で、誠実かつ公正に職務を遂行する態度を身に付ける。 ・様々な人権課題について理解を深め、人権を大切にされた学校園づくりに必要な見識を深める。	2	7	オンデマンド
コンプライアンス・人権教育研修(4年次)	・教育公務員としての使命や責任、守らなければならない法令等を理解し、法令遵守の中で、誠実かつ公正に職務を遂行する態度を身に付ける。 ・様々な人権課題について理解を深め、人権を大切にされた学校園づくりに必要な見識を深める。	2	7	オンデマンド
コンプライアンス・人権教育研修(5年次)	・教育公務員としての使命や責任、守らなければならない法令等を理解し、法令遵守の中で、誠実かつ公正に職務を遂行する態度を身に付ける。 ・様々な人権課題について理解を深め、人権を大切にされた学校園づくりに必要な見識を深める。	2	7	オンデマンド

使命・法令 マナー・一般常識 人権教育の推進 学び続ける意欲 省察する姿勢 受容的態度 実態把握 個性の伸長 個に応じた支援 集団づくりに 規律意識の涵養 生活習慣の形成 人間関係の形成 指導計画 環境構成・教材研究 保育研究・授業改善 個に応じた指導 幼児理解に基づいた評価 考え工夫する学び コミュニケーション 情報共有 協働意識 保護者・地域連携 危機・安全管理 P D C A サイクル	基本的資質						子ども理解						保育						組織の運営と参画							
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26

対象校種	小学校																														
対象者	3・4・5年次教員研修該当者																														
備考																															
研修名	研修のねらい	ステージ	実施月	実施方法	基本的資質						子ども理解						学習指導						組織の運営と参画								
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
学級集団づくり	・人権教育をより一層・深化充実するために、人権教育を推進するうえでの指導方法を習得し、子ども一人ひとりを尊重する態度を身に付ける。	2	9	オンデマンド					○	○									○	○	●	○	○	○	○						○
学校安心ルール研修	・子どもが自らを律することができる力の育成と、子どもが安心して成長できる安全な学校環境を実現とするための「学校安心ルール」の活用方法について理解する。	2	12	オンデマンド				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○													○
小学校国語科研修	・国語科教育の理論に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、国語科における指導方法の原理を習得する。	2	7～9	オンデマンド					○	○									○	○	●	○	○	○	○					○	
小学校社会科研修	・社会科教育の理論に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、社会科における指導方法の原理を習得する。	2	7～9	オンデマンド					○	○									○	○	●	○	○	○	○					○	
小学校算数科研修	・算数科教育の理論に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、算数科における指導方法の原理を習得する。	2	7～9	オンデマンド					○	○									○	○	●	○	○	○	○					○	
小学校理科研修A	・理科教育の理論に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、理科における指導方法の原理を習得する。	2	6	集合 or オンデマンド					○	○									○	○	●	○	○	○	○					○	
小学校生活科研修	・生活科教育の理論に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、生活科における指導方法の原理を習得する。	2	7～9	オンデマンド					○	○									○	○	●	○	○	○	○					○	
小学校音楽科研修	・音楽科教育の理論に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、音楽科における指導方法の原理を習得する。	2	12～2	オンデマンド					○	○									○	○	●	○	○	○	○					○	
小学校図画工作科研修	・図画工作科教育の理論に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、図画工作科における指導方法の原理を習得する。	2	12～2	オンデマンド					○	○									○	○	●	○	○	○	○					○	
小学校家庭科研修	・家庭科教育の理論に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、家庭科における指導方法の原理を習得する。	2	12～2	オンデマンド					○	○									○	○	●	○	○	○	○					○	
小学校体育科研修	・体育科教育の理論に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、体育科における指導方法の原理を習得する。	2	12～2	オンデマンド					○	○									○	○	●	○	○	○	○					○	
小学校外国語活動・外国語科研修	・小学校外国語活動・外国語科教育の理論に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、外国語活動・外国語科における指導方法の原理を習得する。	2	12～2	オンデマンド					○	○									○	○	●	○	○	○	○					○	
小学校道徳教育研修	・道徳教育の理論に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、道徳科・道徳教育の指導方法の原理を習得する。	2	12～2	オンデマンド					○	○	○	○							○	○	●	○	○	○	○					○	
小学校総合的な学習の時間研修	・総合的な学習の時間の理論に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、総合的な学習の時間における指導方法の原理を習得する。	2	12～2	オンデマンド					○	○									○	○	●	○	○	○	○					○	
小学校特別活動研修	・特別活動の理論に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、特別活動における指導方法の原理を習得する。	2	12～2	オンデマンド					○	○									●	○	○	○	○	○	○					○	
小学校特別支援教育研修	・小学校通常学級における特別支援教育の視点を生かした指導や支援の方法を理解する。	2	7	オンデマンド					○	○	○	○	○	○	○	○	○										○	○		○	
コンプライアンス・人権教育研修(3年次)	・教育公務員としての使命や責任、守らなければならない法令等を理解し、法令遵守の中で、誠実かつ公正に職務を遂行する態度を身に付ける。 ・様々な人権課題について理解を深め、人権を大切にされた学校園づくりに必要な見識を深める。	2	7	オンデマンド			●	○	○	○																					
コンプライアンス・人権教育研修(4年次)	・教育公務員としての使命や責任、守らなければならない法令等を理解し、法令遵守の中で、誠実かつ公正に職務を遂行する態度を身に付ける。 ・様々な人権課題について理解を深め、人権を大切にされた学校園づくりに必要な見識を深める。	2	7	オンデマンド			●	○	○	○																					
コンプライアンス・人権教育研修(5年次)	・教育公務員としての使命や責任、守らなければならない法令等を理解し、法令遵守の中で、誠実かつ公正に職務を遂行する態度を身に付ける。 ・様々な人権課題について理解を深め、人権を大切にされた学校園づくりに必要な見識を深める。	2	7	オンデマンド			●	○	○	○																					

対象校種	中学校																															
対象者	3・4・5年次教員研修該当者																															
備考																																
研修名	研修のねらい	ステージ	実施月	実施方法	基本的資質						子ども理解					学習指導						組織の運営と参画										
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
学級集団づくり	・人権教育をより一層・深化充実するために、人権教育を推進するうえでの指導方法を習得し、子ども一人ひとりを尊重する態度を身に付ける。	2	9	オンデマンド						○	○								○	●	○	○	○	○	○						○	
学校安心ルール研修	・子どもが自らを律することができる力の育成と、子どもが安心して成長できる安全な学校環境を実現とするための「学校安心ルール」の活用方法について理解する。	2	12	オンデマンド			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
中学校国語科研修	・国語科教育の理論に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、国語科における指導方法の原理を習得する。	2	7～12	オンデマンド等						○	○								○	○	●	○	○	○	○						○	
中学校社会科研修	・社会科教育の理論に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、社会科における指導方法の原理を習得する。	2	7～12	オンデマンド等						○	○								○	○	●	○	○	○	○						○	
中学校数学科研修	・数学科教育の理論に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、数学科における指導方法の原理を習得する。	2	7～12	オンデマンド等						○	○								○	○	●	○	○	○	○						○	
中学校理科研修	・理科教育の理論に係る事項について、実践研究を通して理解し、理科における指導方法の原理を習得する。	2	7～12	オンデマンド等						○	○								○	○	●	○	○	○	○						○	
中学校音楽科研修	・音楽科教育の理論に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、音楽科における指導方法の原理を習得する。	2	7～12	オンデマンド等						○	○								○	○	●	○	○	○	○						○	
中学校美術科研修	・美術科教育の理論に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、美術科における指導方法の原理を習得する。	2	7	集合						○	○								○	○	●	○	○	○	○						○	
中学校保健体育科研修	・保健体育科教育の理論に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、保健体育科における指導方法の原理を習得する。	2	7～12	オンデマンド等						○	○								○	○	●	○	○	○	○						○	
中学校技術・家庭科（技術分野）研修	・技術・家庭科（技術分野）教育の理論に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、技術・家庭科（技術分野）における指導方法の原理を習得する。	2	7～12	オンデマンド等						○	○								○	○	●	○	○	○	○						○	
中学校技術・家庭科（家庭分野）研修	・技術・家庭科（家庭分野）教育の理論に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、技術・家庭科（家庭分野）における指導方法の原理を習得する。	2	8	オンデマンド 集合						○	○								○	○	●	○	○	○	○						○	
中学校外国語科（英語）研修	・外国語科（英語）教育の理論に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、外国語科（英語）における指導方法の原理を習得する。	2	7～12	オンデマンド等						○	○								○	○	●	○	○	○	○						○	
中学校特別支援学級専任教員研修	・特別支援学級担任に求められる具体的な指導方法や支援方法を習得する。	2	7～12	オンデマンド等						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○						○	
中学校道徳教育研修	・道徳教育の理論に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、道徳科・道徳教育の指導方法の原理を習得する。	2	7～1	オンデマンド						○	○								○	○	●	○	○	○	○						○	
中学校総合的な学習の時間研修	・総合的な学習の時間の理論に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、総合的な学習の時間における指導方法の原理を習得する。	2	12	オンデマンド						○	○								○	○	●	○	○	○	○						○	
中学校特別活動研修	・特別活動の理論に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、特別活動における指導方法の原理を習得する。	2	12	オンデマンド						○	○								○	○	●	○	○	○	○						○	
中学校特別支援教育研修	・中学校通常学級における特別支援教育の視点を生かした指導や支援の方法を理解する。	2	7～12	オンデマンド						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○		○	
コンプライアンス・人権教育研修（3年次）	・教育公務員としての使命や責任、守らなければならない法令等を理解し、法令遵守の中で、誠実かつ公正に職務を遂行する態度を身に付ける。 ・様々な人権課題について理解を深め、人権を大切にされた学校づくりに必要な見識を深める。	2	7	オンデマンド								●	○	○	○																	
コンプライアンス・人権教育研修（4年次）	・教育公務員としての使命や責任、守らなければならない法令等を理解し、法令遵守の中で、誠実かつ公正に職務を遂行する態度を身に付ける。 ・様々な人権課題について理解を深め、人権を大切にされた学校づくりに必要な見識を深める。	2	7	オンデマンド									●	○	○	○																
コンプライアンス・人権教育研修（5年次）	・教育公務員としての使命や責任、守らなければならない法令等を理解し、法令遵守の中で、誠実かつ公正に職務を遂行する態度を身に付ける。 ・様々な人権課題について理解を深め、人権を大切にされた学校づくりに必要な見識を深める。	2	7	オンデマンド										●	○	○	○															

研修区分	4 中堅教員研修
目的	教育公務員特例法第24条の規定に基づき、学校園の教育に関し相当の経験を有し、教育活動および学校園運営の円滑かつ効果的な実施において中核的な役割を担う中堅教員に対し、その職務を遂行するうえで必要な中堅教員としての資質・能力の向上を図る。

対象校種	幼稚園
対象者	中堅教員研修該当者
備考	

研修名	研修のねらい		ステージ	実施月	実施方法																										
	① ④					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
中堅教員研修	① ④	・中堅教員研修に関わる講義と中堅教員研修の計画に関わる研究協議を通して、中堅教員としての自己の課題を見つめ直し、中堅教員として学校園における役割を理解する。 ・メンタルヘルスに関する理解を通して、心身ともに健康を維持して学校園運営に携わる方法を習得する。	3	5	集合 or オンライン																										
		・学校園の教育目標を達成するために、学校園運営を円滑かつ効果的に実施する役割を担う中堅教員としての職務と責任について理解する。	3	7～1	オンデマンド																										
		・学校園の運営における安全管理・危機管理について理解を深め、災害・事故発生時において中核的な役割を担う中堅教員としての役割と責任について理解する。	3	7～1	オンデマンド																										
		・発達障がい等に関して、子ども理解に基づいた指導・支援の方法や子どもの課題に即した機能的・協働的な組織づくりについての知識を習得する。	3	7～1	オンデマンド																										
		・教育公務員としての使命や責任、守らなければならない法令等を理解し、法令遵守の中で、誠実かつ公正に職務を遂行する態度を身に付ける。 ・「教育振興基本計画」に基づき、人権尊重の精神と態度を養うとともに、心豊かな人間の育成をめざした教育を深化・充実させ、本市校園における教育の現状と課題について認識し、教職員としての豊かな人権感覚を培い、人権教育に関する知識を習得する。	3	7	オンデマンド																										
		① ④ ・研究授業・研究保育の実践研究発表会を通して、自己の教育実践の成果と課題を明確にし、指導力向上に係る知識・技能を習得する。	3	11	集合 or オンライン																										
		① ④ ・自己の教育的課題に応じて、講義や実践を通して教育に関する専門的な知識・技能を習得する。	3	7～1	オンデマンド																										
	① ④ ・1年間の自己の教育実践を振り返り、成果と課題を明確にするとともに、次のキャリアステージに向けて目標を設定し、協議を通じて、今後の取組方法を習得する。	3	2	集合 or オンライン																											

使命・法令	マナー・一般常識	人権教育の推進	人権教育の意欲	学び続ける姿勢	省察する態度	受容的態度	実態把握	個性の伸張	個性に合った支援	集団意識の涵養	規律意識の形成	生活習慣の形成	人間関係の形成	指導計画	環境構成・教材研究	保育研究・授業改善	個別に基じた指導	幼児理解に基づいた評価	考え工夫する学び	コミュニケーション	情報共有	協働意識	保護者・地域連携	危機安全管理	PDCAサイクル
-------	----------	---------	---------	---------	--------	-------	------	-------	----------	---------	---------	---------	---------	------	-----------	-----------	----------	-------------	----------	-----------	------	------	----------	--------	----------

基本的資質						子ども理解						保育						組織の運営と参画											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26				

【共通研修】	
対象校種	小学校・中学校
対象者	中堅教員研修該当者
備考	

使命・法令	マナー・一般常識	人権教育の推進	学び続ける意欲	省察する姿勢	受容的態度	実態把握	個性の伸長	個に応じた支援	集団づくりに支え	規律指し導	問題の形成	人間関係の安定	安全計画	指導材料研究	授業研究・授業改善	個別に合わせた指導	授業表現する学び	話し合う学び	めあてを振り返る学び	コミュニケーション	情報共有	協働意識	保護者・地域連携	危機安全管理	P D C A サイクル			
基本的資質					子ども理解					学習指導					組織の運営と参画													
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29

研修名	研修のねらい	ステージ	実施月	実施方法	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	
中堅教員研修	① ④ ・中堅教員研修に関わる講義と中堅教員研修の計画に関わる研究協議を通して、中堅教員としての自己の課題を見つめ直し、中堅教員として学校園における役割を理解する。 ・メンタルヘルスに関する理解を通して、心身ともに健康を維持して学校園運営に携わる方法を習得する。	3	5	集合 or オンライン					●	●																								
	② ・学校園の教育目標を達成するために、学校園運営を円滑かつ効果的に実施する役割を担う中堅教員としての職務と責任について理解する。	3	7~1	オンデマンド																														●
	③ ・学校園の運営における安全管理・危機管理について理解を深め、災害・事故発生時において中核的な役割を担う中堅教員としての役割と責任について理解する。	3	7~1	オンデマンド																														●
	④ ・発達障がい等に関して、子ども理解に基づいた指導・支援の方法や子どもの課題に即した機能的・協働的な組織づくりについての知識を習得する。	3	7~1	オンデマンド		○																												
	⑤ ・教育公務員としての使命や責任、守らなければならない法令等を理解し、法令遵守の中で、誠実かつ公正に職務を遂行する態度を身に付ける。 ・「教育振興基本計画」に基づき、人権尊重の精神と態度を養うとともに、心豊かな人間の育成をめざした教育を深化・充実させ、本市校園における教育の現状と課題について認識し、教職員としての豊かな人権感覚を培い、人権教育に関する知識を習得する。	3	7	オンデマンド					●	●																								
	① ④ ・研究授業・研究保育の実践研究発表会を通して、自己の教育実践の成果と課題を明確にし、指導力向上に係る知識・技能を習得する。	3	11	集合 or オンライン																				●										
	② ・自己の教育的課題に応じて、講義や実践を通して教育に関する専門的な知識・技能を習得する。	3	7~1	オンデマンド																				●										
① ④ ・1年間の自己の教育実践を振り返り、成果と課題を明確にするとともに、次のキャリアステージに向けて目標を設定し、協議を通じて、今後の取組方法を習得する。	3	2	集合 or オンライン						●																									

対象校種		中学校								基本的資質						子ども理解						学習指導						組織の運営と参画													
対象者		首席・指導教諭・主務教諭・教諭																																							
備考																																									
研修名		研修のねらい						ステージ	必修年次	実施月	実施方法	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	
中学校国語科研修		・国語科教育の理論に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、国語科における指導方法の原理を習得する。						2	-	7～12	オンデマンド等					○	○										○	○	●	○	○	○	○	○							○
中学校社会科研修		・社会科教育の理論に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、社会科における指導方法の原理を習得する。						2	-	7～12	オンデマンド等					○	○										○	○	●	○	○	○	○	○							○
中学校数学科研修		・数学科教育の理論に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、数学科における指導方法の原理を習得する。						2	-	7～12	オンデマンド等					○	○										○	○	●	○	○	○	○	○							○
中学校理科学研究		・理科教育の理論に係る事項について、実践研究を通して理解し、理科における指導方法の原理を習得する。						2	-	7～12	オンデマンド等					○	○										○	○	●	○	○	○	○	○							○
中学校音楽科研修		・音楽科教育の理論に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、音楽科における指導方法の原理を習得する。						2	-	7～12	オンデマンド等					○	○										○	○	●	○	○	○	○	○							○
中学校美術科研修		・美術科教育の理論に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、美術科における指導方法の原理を習得する。						2	-	7	集合					○	○										○	○	●	○	○	○	○	○							○
中学校保健体育科研修		・保健体育科教育の理論に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、保健体育科における指導方法の原理を習得する。						2	-	7～12	オンデマンド等					○	○										○	○	●	○	○	○	○	○							○
中学校技術・家庭科（技術分野）研修		・技術・家庭科（技術分野）教育の理論に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、技術・家庭科（技術分野）における指導方法の原理を習得する。						2	-	7～12	オンデマンド等					○	○										○	○	●	○	○	○	○	○							○
中学校技術・家庭科（家庭分野）研修		・技術・家庭科（家庭分野）教育の理論に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、技術・家庭科（家庭分野）における指導方法の原理を習得する。						2	-	8	オンデマンド 集合					○	○										○	○	●	○	○	○	○	○							○
中学校外国語科（英語）研修		・外国語科（英語）教育の理論に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、外国語科（英語）における指導方法の原理を習得する。						2	-	7～12	オンデマンド等					○	○										○	○	●	○	○	○	○	○							○
中学校特別支援学級専任教員研修		・特別支援学級担任に求められる具体的な指導方法や支援方法を習得する。						2	-	7	オンデマンド等					○	○	○	○	○	●	○					○	○	○	●	○							d			○
中学校道徳教育研修		・道徳教育の理論に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、道徳科・道徳教育の指導方法の原理を習得する。						2	-	7～1	オンデマンド					○	○										○	○	●	○	○	○	○	○							○
中学校総合的な学習の時間研修		・総合的な学習の時間の理論に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、総合的な学習の時間における指導方法の原理を習得する。						2	-	12	オンデマンド					○	○										○	○	●	○	○	○	○	○							○
中学校特別活動研修		・特別活動の理論に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、特別活動における指導方法の原理を習得する。						2	-	12	オンデマンド					○	○										○	○	●	○	○	○	○	○							○

研修区分	2 外国語(英語)研修
目的	教育振興基本計画に基づいて、積極的に自分の考えや意見を伝えることができる英語コミュニケーション能力を育成する英語教育の強化を図る。

対象校種	小学校				
対象者	首席・指導教諭・主務教諭・教諭				
備考					
研修名	研修のねらい	ステージ	必修年次	実施月	実施方法
小学校英語短時間学習の進め方研修	①④ ・英語短時間学習の指導方法と教材の活用方法について、講義と実技を通して理解し、校内で情報共有を図る。	2~4	-	7	オンデマンド 集合
外国語小中連携研修	①④ ・講義と研究協議を通して、小・中学校で行われる外国語教育の指導について理解する。	2~4	-	6	オンライン

使 命 ・ 法 令	マ ナ ー ・ 一 般 常 識	人 権 教 育 の 推 進	人 権 教 育 の 推 進	学 び 続 け る 意 欲	省 察 す る 姿 勢	受 容 的 把 握 度	実 態 の 把 握 度	個 性 の 伸 び	個 に 応 じ た 支 援	集 団 的 指 導	規 律 的 指 導	問 題 指 導	人 間 関 係 の 形 成	安 全 心 算	指 導 計 画	教 材 研 究	授 業 研 究 ・ 授 業 改 善	個 に 応 じ た 指 導	授 業 指 導 の 質	考 え 表 現 す る 学 び	話 し 合 い の 学 び	め あ て を 振 り 返 る 学 び	コ ミュ ニ ケー ション	情 報 共 有	協 働 意 識	保 護 者 ・ 地 域 連 携	危 機 ・ 安 全 管 理	P D C A サイ クル
基本的資質						子ども理解									学習指導						組織の運営と参画							
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
					○	○										○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
					○	○										○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

研修区分	3 外部連携研修
目的	各教科の授業改善に向け、講義や実習を通して専門的知識・技能を身に付け、指導力向上を図る。

対象校種	全校園				
対象者	首席・幼稚園主任・指導教諭・主務教諭・教諭				
備考					
研修名	研修のねらい	ステージ	必修年次	実施月	実施方法
大阪市立科学館連携研修	1 ・大阪市立科学館との連携を通して、本市教諭の科学に関する見識を高め、理科学習の指導に関する技能を習得する。	2	-	5	集合
	2 ・大阪市立科学館との連携を通して、本市教諭の科学に関する見識を高め、理科学習の指導に関する技能を習得する。	2	-	8	集合
大阪市立自然史博物館連携研修	1 ・大阪市立自然史博物館との連携を通して、本市教諭の自然に関する見識を高め、理科学習の指導に関する技能を習得する。	2	-	6	集合
	2 ・大阪市立自然史博物館との連携を通して、本市教諭の自然に関する見識を高め、理科学習の指導に関する技能を習得する。	2	-	8	集合
大阪歴史博物館連携研修	・大阪歴史博物館との連携を通して、博物館利用の具体的な方法と大阪の歴史・文化への理解を深め、社会科学習の指導に関する技能を習得する。	2	-	8	集合
国立文化財機構連携研修	・独立行政法人国立文化財機構との連携を通して、重要文化財に親しみ多様な見方・考え方を受け入れる技能を習得する。	2~4	-	8	集合
大学連携講座	・大学との連携を通して、本市教員の文学、社会見学、自然科学等に関する最新の研究成果を踏まえた見識を高め、教科指導に関する知識を習得する。	2	-	8	集合

使 命 ・ 法 令	マ ナ ー ・ 一 般 常 識	人 権 教 育 の 推 進	人 権 教 育 の 推 進	学 び 続 け る 意 欲	省 察 す る 姿 勢	受 容 的 把 握 度	実 態 の 把 握 度	個 性 の 伸 び	個 に 応 じ た 支 援	集 団 的 指 導	規 律 的 指 導	問 題 指 導	人 間 関 係 の 形 成	安 全 心 算	指 導 計 画	教 材 研 究	授 業 研 究 ・ 授 業 改 善	個 に 応 じ た 指 導	授 業 指 導 の 質	考 え 表 現 す る 学 び	話 し 合 い の 学 び	め あ て を 振 り 返 る 学 び	コ ミュ ニ ケー ション	情 報 共 有	協 働 意 識	保 護 者 ・ 地 域 連 携	危 機 ・ 安 全 管 理	P D C A サイ クル
基本的資質						子ども理解									学習指導						組織の運営と参画							
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
					○	○										○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
					○	○										○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
					○	○										○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
					○	○										○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

研修区分	4 ICT教育研修
目的	ICT活用について理解を深め、効果的なICT活用の推進とICT活用指導力の向上を図る

対象校種	小学校・中学校				
対象者	ICT教育担当教員				
備考					
研修名	研修のねらい	ステージ	必修年次	実施月	実施方法
ICT教育担当教員研修	① ③ ④ ・教科指導や児童生徒の情報活用能力の育成等、ICT活用について理解を深め、ICT教育担当教員として、自校のICT教育をマネジメントするために必要なスキルを身に付ける。	3	-	5	集合 or オンライン
	① ③ ④ ・ICTの効果的な活用を知るとともに、自校のICT活用の実態を把握し、ICT活用の推進に向けた中心的な役割を果たすための指導力を習得する。	3	-	11	集合 or オンライン
	① ③ ④ ・今年度のICT活用について振り返り、次年度のICT活用を推進するためのマネジメント能力を習得する。	3	-	2	集合 or オンライン

使 命 ・ 法 令	マ ナ ー ・ 一 般 常 識	人 権 教 育 の 推 進	学 び 続 け る 意 欲	省 察 す る 姿 勢	受 容 的 把 握 度	実 態 の 伸 長	個 性 の 支 援	個 人 に 応 じ た 支 援	集 団 的 指 導	規 律 性 の 行 動	問 題 解 決 の 力	人 間 関 係 の 形 成	安 全 心 算	指 導 計 画	教 材 研 究	授 業 に あ ら わ せ た 指 導	授 業 の 質 の 提 高	考 え を 表 現 す る 学 び	話 し 合 い の 学 び	め あ て を 振 り 返 る 学 び	コ ミ ュ ニ ケー ション	情 報 共 有 意 識	協 働 的 関 連 携 働	保 護 者 ・ 地 域 連 携	危 機 ・ 安 全 管 理	P D C A サイ クル
-----------------------	--------------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	----------------------------	----------------------------	-----------------------	-----------------------	--------------------------------------	-----------------------	----------------------------	----------------------------	---------------------------------	------------------	------------------	------------------	--	---------------------------------	---	---------------------------------	--	-------------------------------	----------------------------	---------------------------------	--------------------------------------	---------------------------------	------------------------------

基本的資質						子ども理解・学級経営										学習指導							組織の運営と参画						
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	
				○	○											●	○	○	○	○	○	○							○
				○	○											●	○	○	○	○	○	○							○
				○	○											●	○	○	○	○	○	○							○

対象者	学校教育ICT推進リーダー				
備考					
研修名	研修のねらい	ステージ	必修年次	実施月	実施方法
学校教育ICT推進リーダー研修	① ⑤ ・ICT活用や児童生徒の情報活用能力の育成等の専門的な知識・技能を基に、実践や協議を通して校内外においてICT活用を推進するために必要な指導力を習得する。	2~4	-	4~3	集合 or オンライン

基本的資質						子ども理解										学習指導							組織の運営と参画						
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	
				○	○											●	○	○	○	○	○	○						○	○

対象者	首席・幼稚園主任・指導教諭・主務教諭・教諭				
備考					
研修名	研修のねらい	ステージ	必修年次	実施月	実施方法
ICT活用研修	・学習者用端末等のICTを日常的かつ効果的に活用した指導方法および児童生徒の情報活用能力（情報モラル教育、プログラミング教育含む）の育成に関する知識・技能を習得する。	1~4	-	7~8	集合

基本的資質						子ども理解										学習指導							組織の運営と参画						
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	
				○	○											●	○	○	○	○	○	○							○

研修区分	5 特別支援教育研修
目的	発達障がいを含む障がいへの理解を深め、障がいのある幼児児童生徒への適切な指導・支援を行うことができるよう、教員に必要な研修を実施し特別支援教育に関する専門性の向上を図る。

対象校種	全校園
対象者	教員
備考	

研修名	研修のねらい		ステージ	必修年次	実施月	実施方法	評価項目																												
	1	2					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
特支担当者必修研修	1	・特別支援教育の教育課程についての基本事項を理解し、適切な指導方法や支援方法を習得する。	1~4	-	1学期	オンデマンド	○			○	○	○	○	○	●						○	○									○	○	○		
	2	・個別の指導計画のPDCAサイクルを理解し、教育的ニーズに応じた自立活動の実践的な指導方法や支援方法を習得する。	1~4	-	2学期	オンデマンド				○	○	○	○	○							○	○									○	○	●		
	3	・個別の教育支援計画・個別の指導計画を活用した、効果的な指導方法や支援方法、適切な連携方法を習得する。	1~4	-	3学期	オンデマンド				○	○	○	○	○							○	○	○	○							○	○	○		
インクルーシブ教育研修	1	・発達に課題のある子どもの行動面の指導支援の方法を習得する。	1~4	-	4	オンデマンド						○	○	○	○	●			○		○	●										○			
	2	・発達に課題のある子どもの自己理解・自己決定を促す指導支援の方法を習得する。	1~4	-	4	オンデマンド						○	○	○	○	●			○	○		○	●									○			
	3	・障がいの特性を理解し、特性や障がいに応じた学習面の指導や支援の方法を習得する。(国語・ことば)	1~4	-	5	集合				○	○	○	○	○						○	○	○	○									○			
	4	・障がいの特性を理解し、特性や障がいに応じた学習面の指導や支援の方法を習得する。(算数・かず)	1~4	-	5	集合				○	○	○	○	○						○	○	○	○									○			
	5	・発達障がい、愛着障がいの特性を理解し、指導支援の方法を習得する。	1~5	-	6	集合				○	○	○	○	○	●	●			○	○		○	●								○	○	○		
	6	・特別支援教育の視点からのユニバーサルデザインに基づく学級づくりについて学び、効果的な指導支援の方法を習得する。	1~4	-	7	集合				○	○	○	○	○	○	●	●			○	○		○	●							○	○	○		
	7	・事例を通して、効果的なソーシャルスキルの指導方法を習得する。	1~4	-	8	集合				○	○	○	○	○	○	●	●			○	○		○	●							○	○	○		
	8	・言語障がいのある子どもに対する理解を深め、事例を通して効果的な指導支援の方法を習得する。	1~4	-	10	集合				○	○	○	○	○	○	●				○	○		○	●							○	○	○		
	9	・行動分析の理論に関する知識を深め、事例を通して効果的な指導支援の方法を習得する。	1~4	-	11	集合				○	○	○	○	○	○	●				○	○		○	●							○	○	○		
	10	・思春期の子どもに対する心理面や行動面での理解を深め、事例を通して効果的な指導支援の方法を習得する。	1~4	-	12	集合				○	○	○	○	○	○	●				○	○		○	●							○	○	○		

使	マ	人	人	学	省	受	実	個	個	集	規	問	人	安	指	教	授	授	授	話	め	コ	情	協	保	危	P
命	ナ	権	権	び	察	容	態	性	性	団	律	題	間	全	導	材	業	業	業	し	あ	ミ	報	働	護	機	D
法	ー	一	一	続	す	的	把	の	に	づ	指	行	の	心	計	研	研	研	合	て	ニ	共	意	者	・	A	
令	常	般	推	け	る	態	伸	支	支	く	導	動	形	成	研	究	改	善	学	を	ケ	有	識	地	全	サイ	
	識	課	進	意	欲	勢	握	長	援	り	導	動	成	心	画	究	善	価	び	振	シ	識	域	全	クル		

基本的資質							子ども理解							学習指導							組織の運営と参画							
-------	--	--	--	--	--	--	-------	--	--	--	--	--	--	------	--	--	--	--	--	--	----------	--	--	--	--	--	--	--

対象校種		全校園																																				
対象者		通級指導担当者																																				
備考		すべての研修を受講する。																																				
研修名		研修のねらい				ステージ	必修年次	実施月	実施方法	基本的資質					子ども理解					学習指導					組織の運営と参画													
										1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
通級指導担当者研修	1	通級指導担当者の役割を理解し、通級による指導に必要な知識を習得する。				1~4	-	4	オンライン	○			○	○		○	○	○							○	○	●			○	○	○	○	○	○	○		
	2	通級による指導に必要な知識を習得し、特別支援教育に関する専門性を高める。				1~4	-	7~8	集合	○			○	○	○	○	○	○							○	○	●	○		○	○	○	○	○	○	○		
	3	通級による指導に必要な知識を習得し、特別支援教育に関する専門性を高める。				1~4	-	10~11	集合	○			○	○	○	○	○	○							○	○	●	○		○	○	○	○	○	○	○		
	4	通級による指導に必要な知識を習得し、特別支援教育に関する専門性を高める。				1~4	-	12	集合	○			○	○	○	○	○	○							○	○	●	○		○	○	○	○	○	○	○		
	5	通級による指導に必要な知識を習得し、特別支援教育に関する専門性を高める。				1~4	-	2	集合	○			○	○	○	○	○	○							○	○	●	○		○	○	○	○	○	○	○		

対象校種		幼稚園																																	
対象者		教員（養護教員を含む）																																	
備考																																			
研修名		研修のねらい				ステージ	必修年次	実施月	実施方法	基本的資質					子ども理解					保育					組織の運営と参画										
										1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
幼稚園特別支援教育研修	1	・幼稚園における特別支援教育の視点を生かした指導支援の方法を理解する。				1~4	-	6	オンデマンド					○	○	○		●								○									○
	2	・幼稚園における実践の報告と事例検討を行い、効果的な指導・支援のあり方を理解する。				1~4	-	1	オンデマンド					○	○	○		●								○									○

対象校種		小学校																																				
対象者		教員																																				
備考																																						
研修名		研修のねらい				ステージ	必修年次	実施月	実施方法	基本的資質					子ども理解					学習指導					組織の運営と参画													
										1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
小学校特別支援教育研修		・小学校通常学級における特別支援教育の視点を生かした指導支援の方法を理解する。				1~4	-	7	オンデマンド					○	○	○	○	○	●	○			○	○		○	○									○		

対象校種		中学校																																				
対象者		教員																																				
備考																																						
研修名		研修のねらい				ステージ	必修年次	実施月	実施方法	基本的資質					子ども理解					学習指導					組織の運営と参画													
										1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
中学校特別支援教育研修		・中学校通常学級における特別支援教育の視点を生かした指導支援の方法を理解する。				1~4	-	7	オンデマンド					○	○	○	○	○	●	○			○	○		○	○									○		

研修区分	8 学力向上支援チーム事業に関わる研修
目的	子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けた授業改善および各校における若手教員育成に向けた組織的な支援体制づくりを学び、指導力の向上を図る。

対象校種	小学校・中学校	
対象者	首席・指導教諭・主務教諭・教諭	
備考	小・中学校より各1名必修（幼稚園は希望する教員）	
研修名	研修のねらい	ステージ 必修年次 実施月 実施方法
小学校学力向上授業研修	・「全国学力・学習状況調査」の結果から明らかになった課題と成果を踏まえ、指導法の改善を図るための方法を習得する。	3~4 - 10 オンデマンド
中学校学力向上授業研修	・「全国学力・学習状況調査」の結果から明らかになった課題と成果を踏まえ、指導法の改善を図るための方法を習得する。	3~4 - 10 オンデマンド
カリキュラム・マネジメント研修	・校長のリーダーシップのもと、組織的、計画的に「カリキュラム・マネジメント」を展開するための手立て、カリキュラムの自己点検・評価に関する手法等を習得する。	3~4 - 未定 オンデマンド
メンター研修	① ④ ・校内の若手教諭を育成するために、メンターとしての役割を理解し若手教諭への支援活性化の方法を習得する。	2~4 - 5 6 オンデマンド オンライン
	① ④ ・校内の若手教員育成研修をさらに活性化させ、今後の支援体制づくりに生かすために、効果的な支援の在り方や企画・運営・実施の方法を習得する。	2~4 - 1 2 オンデマンド オンライン

使 命 ・ 法 令	マ ナ ー ・ 一 般 常 識	人 権 教 育 の 推 進	学 び 続 け る 意 欲	省 察 す る 姿 勢	受 容 的 把 握 度	実 践 性 の 伸 長	個 人 に 応 じ た 支 援	個 人 に 応 じ た 支 援	集 団 的 に 支 援	規 律 的 に 支 援	問 題 解 決 の 力	人 間 関 係 の 形 成	安 全 心 算	指 導 計 画	教 材 研 究	授 業 研 究 ・ 授 業 改 善	個 人 に 応 じ た 指 導	授 業 研 究 ・ 授 業 改 善	考 え 表 現 す る 学 び	話 し 合 い の 学 び	め あ て を 振 り 返 る 学 び	コ ミュ ニ ケー ション	情 報 共 有	協 働 意 識	保 護 者 ・ 地 域 連 携	危 機 ・ 安 全 管 理	P D C A サイ クル	
基本的資質					子ども理解					学習指導					組織の運営と参画													
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
				○	○										○	○	●	○	○	○	○	○						○
				○	○										○	○	●	○	○	○	○	○						○
				○	○										○	○	○	○	○	○	○	○						○
				○	○																		○					○
				○	○																		○					○

研修区分	9 園内研修支援・OJT事業に関わる研修
目的	各園の保育研究を伴う園内研修体制づくりへの支援を通して、全ての教諭の保育指導力の向上および若手教諭育成を中心とした園内研修の充実・活性化を図る。

対象校種	幼稚園	
対象者	主務教諭・教諭	
備考	2年目教諭必修	
研修名	研修のねらい	ステージ 必修年次 実施月 実施方法
幼稚園OJTグループ研修	・2年目教員を対象に幼児の興味関心を引き出す保育の工夫についてグループで考え合い、保育の基礎的な方法を習得する。 ・グループ研修で学び合うことで教諭一人一人のPDCAサイクルを確立し指導に生かす方法を習得する。	1 2 8 集合

使 命 ・ 法 令	マ ナ ー ・ 一 般 常 識	人 権 教 育 の 推 進	学 び 続 け る 意 欲	省 察 す る 姿 勢	受 容 的 把 握 度	実 践 性 の 伸 長	個 人 に 応 じ た 支 援	個 人 に 応 じ た 支 援	集 団 的 に 支 援	規 律 的 に 支 援	生 活 習 慣 の 形 成	人 間 関 係 の 形 成	指 導 計 画	環 境 構 成 ・ 教 材 研 究	保 育 研 究 ・ 授 業 改 善	個 人 に 応 じ た 指 導	幼 児 理 解 に 基 づ い た 評 価	考 え 工 夫 す る 学 び	コ ミュ ニ ケー ション	情 報 共 有	協 働 意 識	保 護 者 ・ 地 域 連 携	危 機 ・ 安 全 管 理	P D C A サイ クル			
基本的資質					子ども理解					保育					組織の運営と参画												
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26		
				○	○	○	○	○	○						○	○	●	○	○								○

研修区分	10 主任・主事等研修
目的	主任・主事等の職務について理解を深め、主任・主事等としての資質の向上を図る。
備考	主任・主事・各担当等の職務に就いている中堅教員研修対象者は、中堅教員研修の選択研修とすることができる。

使 命 ・ 法 令	マ ナ ー ・ 一 般 常 識	人 権 教 育 の 推 進	学 び 続 け る 意 欲	省 察 的 姿 勢	受 容 的 把 握 度	実 態 の 伸 長	個 性 の 支 援	個 人 的 の 支 援	集 団 的 の 支 援	規 律 的 の 支 援	問 題 的 の 支 援	人 間 関 係 の 形 成	安 全 心 算	指 導 計 画	教 材 研 究	授 業 研 究	個 人 的 の 指 導	授 業 に あ い ま わ る 学 び	考 え 表 現 す る 学 び	話 し 合 い の 学 び	め あ て を 振 り 返 る 学 び	コ ミュ ニ ケー ション	情 報 共 有	協 働 意 識	保 護 者 ・ 地 域 連 携	危 機 ・ 安 全 管 理	P D C A サイ クル
-----------------------	--------------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	-----------------------	----------------------------	-----------------------	-----------------------	----------------------------	----------------------------	----------------------------	----------------------------	---------------------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	----------------------------	--	--------------------------------------	---------------------------------	--	---------------------------	------------------	------------------	--------------------------------------	---------------------------------	------------------------------

対象校種	全校園			
対象者	人権教育担当者			
備考				
研修名	研修のねらい	ステージ	必修年次	実施月
人権教育担当者研修	・本市の人権教育の現状と課題について理解を深め、人権教育担当者として人権教育を推進するための必要な見識を身に付ける。	3~4	-	5~6

基本的資質						子ども理解						学習指導						組織の運営と参画										
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

対象校種	全校園			
対象者	外国人教育担当者			
備考				
研修名	研修のねらい	ステージ	必修年次	実施月
外国人教育担当者研修	・本市の外国人教育の現状と課題について理解を深め、外国人教育担当者として外国人教育を推進するための必要な見識を身に付ける。	3~4	-	5~6

基本的資質						子ども理解						学習指導						組織の運営と参画										
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

対象校種	小学校・中学校			
対象者	学校給食主任、給食担当教員			
備考				
研修名	研修のねらい	ステージ	必修年次	実施月
学校給食主任研修	・学校給食の現状や食育のあり方を理解し、食に関する指導の方法を習得する。	3~4	-	5

基本的資質						子ども理解						学習指導						組織の運営と参画										
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

対象校種	小学校・中学校			
対象者	保健主事			
備考				
研修名	研修のねらい	ステージ	必修年次	実施月
保健主事研修	・学校保健についての理解を深め、保健主事としての資質や能力を身に付ける。	2~4	-	7

基本的資質						子ども理解						学習指導						組織の運営と参画										
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

対象校種	小学校			
対象者	体育科主任			
備考				
研修名	研修のねらい	ステージ	必修年次	実施月
小学校体育科主任水泳研修	①・水泳指導直前に安全な水泳指導の内容と指導の要点や正しい泳法について実技研修を通し、水泳の指導に関する技能を習得する。 ②	3~4	-	6

基本的資質						子ども理解						学習指導						組織の運営と参画										
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

対象校種	小学校																																				
対象者	新任教務主任																																				
備考																																					
研修名	研修のねらい				ステージ	必修年次	実施月	実施方法	基本的資質						子ども理解						学習指導						組織の運営と参画										
校務運営研修	・小学校における校務運営についての今日的課題を明確にとらえ、その課題に適切に対処するための具体的、かつ的確な方策を習得する。				3~4	-	7	集合	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29

対象校種	中学校																																				
対象者	保健体育科主任																																				
備考																																					
研修名	研修のねらい				ステージ	必修年次	実施月	実施方法	基本的資質						子ども理解						学習指導						組織の運営と参画										
中学校保健体育科主任武道研修	①・武道における安全に配慮した指導方法及び実践的指導力の向上を目的とした授業づくりの方法を習得する。 ②				3~4	-	11	集合	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29

対象校種	小学校・中学校																																					
対象者	道徳教育推進教師																																					
備考																																						
研修名	研修のねらい				ステージ	必修年次	実施月	実施方法	基本的資質						子ども理解						学習指導						組織の運営と参画											
道徳教育推進教師研修	1	・道徳教育推進教師の役割についての理解を深め、各校の道徳教育を推進する具体的な方策を習得する。				3~4	-	5	オンライン OR オンデマンド	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
	2	・道徳科の詳細等についての理解を深めるとともに、道徳教育推進に係る各校の取り組みについての協議を行い、道徳教育推進教師を中心とした協力体制のもとで、道徳教育を推進するための様々な工夫について理解する。				3~4	-	2	集合 OR オンライン OR オンデマンド	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29

対象校種	中学校																																				
対象者	生徒指導主事																																				
備考																																					
研修名	研修のねらい				ステージ	必修年次	実施月	実施方法	基本的資質						子ども理解						学習指導						組織の運営と参画										
中学校生徒指導主事研修	・生活指導全般にわたる業務の企画・立案・処理を行うために必要な知識や技能を習得する。				3~4	-	2	集合	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29

研修区分	13 常勤講師研修
目的	常勤講師として必要な基本的知識を習得する。

【助教諭・常勤講師】	
対象校種	全校園
対象者	助教諭・常勤講師・臨時講師（非常勤講師を除く）
備考	
研修名	研修のねらい
常勤講師研修	・本市校園における教育の現状と課題について認識するとともに、教育活動に必要な基本的知識を習得する。
ステージ	-
必修年次	-
実施月	7
実施方法	オンデマンド

使 命 ・ 法 令	マ ナ ー ・ 一 般 常 識 題 進 欲 勢	人 権 教 育 の 推 進 意 姿 態	学 び 続 け る 意 欲	省 察 す る 姿 態	受 容 的 把 握 度	実 態 の 把 握 長 援 り	個 性 の 伸 び 支 援	個 人 に 応 じ た 支 援	集 団 づ く 支 援	規 律 指 導	問 題 行 動	人 間 関 係 の 形 成	安 全 心	指 導 計 画	教 材 研 究 改 善	授 業 に 応 じ た 指 導 価	授 業 評 価	考 え 表 現 す る 学 び	話 し 合 う 学 び	め あ て を 振 り 返 る 学 び	コ ミ ュ ニ ケー ション	情 報 共 有	協 働 意 識	保 護 者 ・ 地 域 連 携	危 機 ・ 安 全 管 理	P D C A サイ クル			
基本的資質					子ども理解					学習指導					組織の運営と参画														
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	
●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【常勤講師】	
対象校種	小学校
対象者	常勤講師
備考	
研修名	研修のねらい
小学校国語科研修	・国語科教育の理論に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、国語科における指導方法の原理を習得する。
小学校社会科研修	・社会科教育の理論に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、社会科における指導方法の原理を習得する。
小学校算数科研修	・算数科教育の理論に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、算数科における指導方法の原理を習得する。
小学校理科研修A	・理科教育の理論に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、理科における指導方法の原理を習得する。
小学校理科研修B	・理科教育の指導に係る事項について講義と実習を通して科学への興味を高め、理科学習の指導に関する知識・技能を習得する。
小学校理科研修C	① ② ③ ・理科教育の授業改善に係る事項について講義と観察・実験に関する実習を通して、理科学習の知識・技能を習得する。
小学校生活科研修	・生活科教育の理論に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、生活科における指導方法の原理を習得する。
小学校音楽科研修	・音楽科教育の理論に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、音楽科における指導方法の原理を習得する。
小学校図画工作科研修	・図画工作科教育の理論に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、図画工作科における指導方法の原理を習得する。
小学校家庭科研修	・家庭科教育の理論に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、家庭科における指導方法の原理を習得する。
小学校体育科研修	・体育科教育の理論に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、体育科における指導方法の原理を習得する。
小学校外国語活動・外国語科研修	・小学校外国語活動・外国語科教育の理論に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、外国語活動・外国語科における指導方法の原理を習得する。
小学校道徳教育研修	・道徳教育の理論に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、道徳科・道徳教育の指導方法の原理を習得する。
小学校総合的な学習の時間研修	・総合的な学習の時間の理論に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、総合的な学習の時間における指導方法の原理を習得する。
小学校特別活動研修	・特別活動の理論に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、特別活動における指導方法の原理を習得する。
ステージ	-
必修年次	-
実施月	7~9
実施方法	オンデマンド

基本的資質					子ども理解					学習指導					組織の運営と参画													
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
				○	○										○	●	○	○	○	○	○	○						○
				○	○										○	●	○	○	○	○	○	○						○
				○	○										○	●	○	○	○	○	○	○						○
				○	○										○	●	○	○	○	○	○	○						○
				○	○										○	●	○	○	○	○	○	○						○
				○	○										○	●	○	○	○	○	○	○						○
				○	○										○	●	○	○	○	○	○	○						○
				○	○										○	●	○	○	○	○	○	○						○
				○	○										○	●	○	○	○	○	○	○						○
				○	○										○	●	○	○	○	○	○	○						○
				○	○										○	●	○	○	○	○	○	○						○
				○	○										○	●	○	○	○	○	○	○						○
				○	○										○	●	○	○	○	○	○	○						○

対象校種		中学校																																			
対象者		常勤講師																																			
備考							基本的資質						子ども理解						学習指導						組織の運営と参画												
研修名		研修のねらい			ステージ	必修年次	実施月	実施方法	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
中学校国語科研修		・国語科教育の理論に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、国語科における指導方法の原理を習得する。			-	-	7~12	オンデマンド等					○	○										○	○	●	○	○	○	○					○		
中学校社会科研修		・社会科教育の理論に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、社会科における指導方法の原理を習得する。			-	-	7~12	オンデマンド等					○	○										○	○	●	○	○	○	○					○		
中学校数学科研修		・数学科教育の理論に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、数学科における指導方法の原理を習得する。			-	-	7~12	オンデマンド等					○	○										○	○	●	○	○	○	○					○		
中学校理科研修		・理科教育の理論に係る事項について、実践研究を通して理解し、理科における指導方法の原理を習得する。			-	-	7~12	オンデマンド等					○	○										○	○	●	○	○	○	○					○		
中学校音楽科研修		・音楽科教育の理論に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、音楽科における指導方法の原理を習得する。			-	-	7~12	オンデマンド等					○	○										○	○	●	○	○	○	○					○		
中学校美術科研修		・美術科教育の理論に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、美術科における指導方法の原理を習得する。			-	-	7	集合					○	○										○	○	●	○	○	○	○					○		
中学校保健体育科研修		・保健体育科教育の理論に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、保健体育科における指導方法の原理を習得する。			-	-	7~12	オンデマンド等					○	○										○	○	●	○	○	○	○					○		
中学校技術・家庭科（技術分野）研修		・技術・家庭科（技術分野）教育の理論に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、技術・家庭科（技術分野）における指導方法の原理を習得する。			-	-	7~12	オンデマンド等					○	○										○	○	●	○	○	○	○					○		
中学校技術・家庭科（家庭分野）研修		・技術・家庭科（家庭分野）教育の理論に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、技術・家庭科（家庭分野）における指導方法の原理を習得する。			-	-	8	オンデマンド集合					○	○										○	○	●	○	○	○	○					○		
中学校外国語科（英語）研修		・外国語科（英語）教育の理論に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、外国語科（英語）における指導方法の原理を習得する。			-	-	7~12	オンデマンド等					○	○										○	○	●	○	○	○	○					○		
中学校特別支援学級専任教員研修		・特別支援学級担任に求められる具体的な指導方法や支援方法を習得する。			-	-	2	オンデマンド等					○	○	○	○	○	●	○					○	○	○	●	○						○			
中学校道徳教育研修		・道徳教育の理論に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、道徳科・道徳教育の指導方法の原理を習得する。			-	-	7~1	オンデマンド					○	○										○	○	●	○	○	○	○					○		
中学校総合的な学習の時間研修		・総合的な学習の時間の理論に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、総合的な学習の時間における指導方法の原理を習得する。			-	-	12	オンデマンド					○	○										○	○	●	○	○	○	○					○		
中学校特別活動研修		・特別活動の理論に係る事項について、講義と実践研究を通して理解し、特別活動における指導方法の原理を習得する。			-	-	12	オンデマンド					○	○										○	○	●	○	○	○	○					○		

研修区分	14 特別企画研修
目的	喫緊の教育課題に対応した研修により、課題解決のための知識・技能の向上を図る。

【教頭昇任予定者】					
対象校種	小学校・中学校				
対象者	教頭昇任予定者				
備考					
研修名	研修のねらい	ステージ	必修年次	実施月	実施方法
教頭昇任予定者研修	・学校運営における使命と役割を理解し、その職責を果たすための考え方及び実務に関する知識を習得する。	4	-	2	集合

使命・法令	倫理観	人権教育推進計画	人権教育の推進	自己伸長	情報収集	情報活用	各種調査の実用	安全安心	危機安全	地域社会との連携・協働	情報発信	予算・情報管理	カリキュラム・マネジメント	メンタルヘルスマネジメント	コンプライアンスの遵守	ハラスメントの防止	職務遂行の向上	授業力の向上	保護者・地域との関係構築	研修の推進	適切な人材配置	資質向上	教職員の評価		
基本的資質						学校経営・マネジメント																			
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	
○	○			○	○	○								○	○	○	○							●	

対象校種	小学校・中学校						
対象者	小学校・中学校教員						
備考							
研修名	研修のねらい	ステージ	必修年次	実施月	実施方法		
総合的読解力育成研修	1	① ③ ④	・総合的読解力育成を図る指導方法について、講義と実践事例を通して理解する。	1~4	-	7	集合
	2	① ③ ④	・総合的読解力育成を図る指導方法について、講義と実践事例を通して理解する。	1~4	-	2	集合

使命・法令	マナー・一般常識	人権教育の推進	人権教育の意欲	学び続ける姿勢	省察する態度	受容的態度	実態把握	個性の伸長	個性に応じた支援	個性に応じた支援	集団規律の指導	規範的行動の形成	人間関係の形成	安全安心	指導計画	授業研究・授業改善	個別対応した指導	授業評価	話し合いの学び	めあてを振り返る学び	コミュニケーション	情報共有	協働意識	保護者・地域連携	危機安全管理	PDCAサイクル		
基本的資質						子ども理解						学習指導						組織の運営と参画										
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
				○	○										○	○	●	○	○	○	○	○						○

対象校種	小学校				
対象者	今年度初めて理科を指導する教員・希望者				
備考					
研修名	研修のねらい	ステージ	必修年次	実施月	実施方法
小学校理科安全研修	理科教育の実験に係る項目について基礎的な実験の実習を通して、事故を防止するための知識・技能を習得する。	1~4	-	4	集合

基本的資質						子ども理解						学習指導						組織の運営と参画										
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
														○	○	○	●	○									○	○

対象校種	全校園				
対象者	管理職・教員すべて				
備考					
研修名	研修のねらい	ステージ	必修年次	実施月	実施方法
応急手当普及員講習	・応急手当普及員として養成し、所属校の教職員に対し研修等を実施することにより、児童・生徒の事故等に的確に対応できる学校づくりの方法を習得する。	1~管	-	4	集合

基本的資質						子ども理解						学習指導						組織の運営と参画										
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
○			○											○											○			●

研修区分	16 首席・指導教諭・幼稚園主任研修
目的	首席・指導教諭・幼稚園主任として、その職務を理解するとともに、資質の向上を図る。

対象校種	幼稚園					
対象者	幼稚園主任					
備考						
研修名	研修のねらい				ステージ	必修年次
幼稚園主任研修	・幼稚園組織の中での主任としての役割を認識し、幼稚園運営について積極的に取り組むことができる資質・能力を習得する。				4	-

使命・法令	マナー・一般常識	人権教育の推進	学び続ける意欲	省察する姿勢	受容的態度	実態把握	個性の伸長	個性の支え	集団意識の涵養	規律意識の形成	人間関係の形成	安全安心の形成	指導計画	授業研究・改善	個別対応した指導	幼児理解に基づいた評価	考え工夫する学び	コミュニケーション	情報共有	協働意識	保護者・地域連携	危機安全管理	P D C A サイクル		
基本的資質						子ども理解						保育				組織の運営と参画									
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
○	○		○	○	○									○						○	○	●	○	○	○

対象校種	小学校・中学校					
対象者	首席・指導教諭					
備考						
研修名	研修のねらい				ステージ	必修年次
首席研修	・学校組織の中での首席としての役割を認識し、学校運営について積極的に取り組むことができる資質・能力を習得する。				4	-
指導教諭研修	・指導教諭・指導養護教諭・指導栄養教諭としての職務について理解する。				4	-

使命・法令	マナー・一般常識	人権教育の推進	学び続ける意欲	省察する姿勢	受容的態度	実態把握	個性の伸長	個性の支え	集団意識の涵養	規律意識の形成	人間関係の形成	安全安心の形成	指導計画	授業研究・改善	個別対応した指導	授業評価	話し合いの学び	めあてを振り返る学び	コミュニケーション	情報共有	協働意識	保護者・地域連携	危機安全管理	P D C A サイクル				
基本的資質						子ども理解						学習指導				組織の運営と参画												
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
○	○			○	○																		○	○	●	○	○	○

対象校種	全校園					
対象者	新任首席・新任幼稚園主任・新任指導教諭					
備考						
研修名	研修のねらい				ステージ	必修年次
新任首席・新任幼稚園主任研修	・主幹教諭としての職務についての講話を通して、学校園組織の中での役割を認識し、学校園運営に主体的に参画する態度を身に付ける。				4	-
新任指導教諭研修	・新任指導教諭としての職務について理解する。				4	-

基本的資質						子ども理解						学習指導				組織の運営と参画												
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
●	○			○	○										○	○	○	○	○	○	○	○						○

教職員研修計画

養護教諭 等

小 目 次

◇ 教員「基本」研修

- 1 新任教員研修（1年目） 39
- 2 新任教員研修（2年目） 41
- 3 3・4・5年次教員研修 42
- 4 中堅教員研修 43

◇ 教員「専門」研修

- 5 特別支援教育研修 44
- 6 人権教育研修 47
- 10 主任・主事等研修 47
- 11 養護教員研修 48
- 13 常勤講師研修 49
- 14 特別企画研修 49
- 16 首席・指導教諭・幼稚園主任研修 50

◇ 教員「基本」研修

研修区分	I 新任教員研修（1年目）【令和6年度採用】
目的	教育公務員特例法第23条の規定により職務の遂行に必要な事項に関する実践的な研修により、実践的指導力と使命感を養うとともに幅広い知見の獲得を図る。

【共通研修】	
対象校種	幼稚園・小学校・中学校
対象者	令和6年度採用養護教諭
備考	

研修名	研修のねらい	ステージ	実施月	実施方法	基本的資質 / 子ども理解 / 養護教諭の専門性 / 組織の運営と参画																												
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
新任教員研修（1年目）	① ③ ⑥ ・新任教員研修の意義・目的、内容等を理解し、研修に対する意欲の向上をめざすとともに、教員としての責務を自覚し、充実した教育活動を実践するために必要な基礎的知識を習得する。	I	4	集合	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	① ③ ④ ・仲間どうしが支え合い高め合う「学び」を実現するための、集団づくりの重要性についての知識を習得する。 ・学校給食を通して子どもに望ましい食習慣を身に付けさせるための基本的な事項について知識を習得する。	I	6	オンデマンド 集合							○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	① ③ ④ ・保護者、地域と互いに協力し合い、子どもの育成にあたるための信頼関係構築についての基本的な考え方を習得する。 ・心身ともに健康を維持し学校教育に携わることをめざし、メンタルヘルスに関する知識を習得する。	I	8	オンデマンド 集合	○	●																				○	●	○	○	○	○	○	
	① ③ ④ ・本市校園における人権教育の現状と課題を知り、様々な人権問題についての知識を習得する。 ・協議を通して連続する校園種間での連携した教育の重要性や各校園種の課題等を理解し、広い視野に立った判断力を高めたり、指導力を身に付けたりするための方法を習得する。	I	10~11	オンデマンド 集合				●	○	○	○	○	○	○																			●
	① ③ ④ ・公務員としての使命を自覚し、コンプライアンス意識を醸成する。 ・1年間の自己の実践を振り返り、成果と課題を明確にすることを通じて、より実践的な指導力を高めるための方法を習得する。	I	1	オンデマンド 集合	●	○				○	○																						●

使 命 ・ 法 令	マ ナ ー ・ 一 般 常 識	人 権 教 育 の 推 進 課 題	人 権 教 育 の 推 進 意 欲	学 び 続 け る 意 欲	省 察 す る 姿 勢	受 容 的 把 握 度	実 態 の 把 握 度	個 性 の 伸 長	個 に 応 じ た 支 援	問 題 行 動	人 間 関 係 の 形 成	保 健 室 経 営	健 康 相 談	健 康 診 断	救 急 処 置	疾 病 の 管 理 と 予 防	学 校 環 境 衛 生	専 門 性 を 活 か し た 指 導	教 材 研 究	考 え 表 現 す る 学 び	話 し 合 う 学 び	め あ て を 振 り 返 る 学 び	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	情 報 共 有	協 働 意 識	学 校 保 健 組 織 活 動 と の 連 携	危 機 ・ 安 全 管 理	P D C A サ イ ク ル
基本的資質						子ども理解						養護教諭の専門性						組織の運営と参画										

【校園種別職種別研修】																																	
対象校種	幼稚園・小学校・中学校																																
対象者	令和6年度採用養護教諭																																
備考						基本的資質						子ども理解						養護教諭の専門性						組織の運営と参画									
研修名	研修のねらい	ステージ	実施月	実施方法	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
養護教諭新任研修	1	・講義や協議を通して養護教諭の職務について理解し、実務処理の方法を身に付ける。	1	4	集合	○	○	○	○	○	○		○		○	○		●	○	○	○	○	○					○	○	○	○	○	○
	2	・AEDの使用を含めた心肺蘇生法および応急手当について理解し、実習を通して、そのスキルを身に付ける。(大阪消防振興協会)	1	7,8	集合	○				○	○											●	○	○							○	○	
	3	・講義や先輩養護教諭の実践から健康教育の意義を学び、自校園での保健教育の進め方や指導方法を習得する。(合同研修)	1	8	オンデマンド 集合					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	4	・自校園の健康課題解決のために、養護教諭の専門性と保健室の機能を生かした保健室経営計画の立て方を学ぶ。 ・心身の健康状況を把握する健康観察の重要性を学び、課題解決に向けて実施する健康相談のスキルを身に付ける。(合同研修)	1	8	オンデマンド 集合							○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○
	5	・救急処置と安全管理についての現状を知り、子どもたちの安心安全な生活を推進できるスキルを身に付ける。(合同研修)	1	8	オンデマンド 集合	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○
	6	・指導養護教諭の勤務校園を訪問し、保健室経営の実際を見学することや指導養護教諭との協議を通して指導力を高める。	1	7~12	集合	○	○			○	○							●	○	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○	○
	7	・特別支援教育の講義や協議を通して、校園内支援構築のための養護教員の役割及び医療的ケアや関係機関との連携等について理解し、具体的な支援方法を習得する。	1	12	オンデマンド 集合			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							○		○	○	○	○	○	○	○	○
	8	・学校保健の指導力を高めるために、自校園の実践発表や協議を通して、学校保健を推進するスキルを習得する。	1	2	オンデマンド 集合					○	○	○	○	○				○	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

研修区分	2 新任教員研修（2年目）【令和5年度採用】
目的	新任教員1年目で身に付けた基礎的・基本的な指導力を基に、教員2年目として教科等の実践的な指導技術の向上を図る。

【共通研修】				
対象校種	全校園			
対象者	令和5年度採用養護教諭			
備考				
研修名	研修のねらい	ステージ	実施月	実施方法
新任教員研修（2年目）	6 ①④ ・人権教育をより一層深化・充実するために、人権教育を推進するうえでの指導方法を習得し、子ども一人ひとりを尊重する態度を身に付け、学級集団づくりにいかす。	1	5	オンデマンド 集合
	7 ①④ ・地域における学習や講義などを通して、人権教育の推進について知識を習得し、教員としての豊かな人権感覚を身に付ける。	1	8	オンデマンド 集合
	8 ・校園周辺地域の民間企業や社会福祉施設、事業所等での体験活動を通じて、学校教育外に視野を広げ、コミュニケーション能力を高めるとともに、地域の人々の思いや願いを受け止め、教育活動に活かすための能力を身に付ける。	1	夏季休業中	集合
	9 ①④ ・新任教員研修のまとめとして、2年間の自己の教育実践を振り返り、成果と課題を明確にするとともに3・4・5年次に向けた目標を設定し、協議を通じて、より実践的な指導力や判断力を高めるための方法を習得する。 ・公務員としての使命を自覚し、コンプライアンス意識を醸成する。	1	2	オンデマンド 集合

使 命 ・ 法 令	マ ナ ー ・ 一 般 常 識	人 権 教 育 の 推 進	人 権 教 育 の 推 進	学 び 続 け る 意 欲	省 察 す る 姿 勢	受 容 的 把 握 度	実 態 の 把 握 長	個 性 の 伸 び	個 に 応 じ た 支 援	問 題 行 動 成 果	人 間 関 係 の 形 成	保 健 室 の 管 理	健 康 相 談	健 康 診 断	救 急 処 置	疾 病 の 管 理 と 予 防	学 校 環 境 衛 生	専 門 性 を 活 か し た 指 導	教 材 研 究	考 え 表 現 す る 学 び	話 し 合 い の 学 び	め あ て を 振 り 返 る 学 び	コ ミュ ニ ケー ション	情 報 共 有	協 働 意 識	学 校 保 健 組 織 活 動 と の 連 携	危 機 ・ 安 全 管 理	P D C A サイ クル	
基本的資質						子ども理解						養護教諭の専門性						組織の運営と参画											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
			○	○	●	○																					○	○	
	○	○		○	○																		●	○	○	○	○	○	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●

【校園種別職種別研修】				
対象校種	全校園			
対象者	令和5年度採用養護教諭			
備考	養護教諭課題別研修は連続して受講しなくても可。			
研修名	研修のねらい	ステージ	実施月	実施方法
養護教諭新任研修	9 ・新任養護教諭のまとめとして自己の保健教育実践を振り返り、成果と課題を明確にするとともに3・4・5年次に向けた目標を設定し、協議を通してより専門的な指導力や判断力を高める。	1	1	オンデマンド 集合
養護教諭課題別研修	1 ①④ ・健康教育における養護教諭の指導力を向上するためのスキルを習得する。	1~4	1~2	集合
	2 ・健康教育指導者養成研修健康コース受講者による各受講内容をオンラインにより伝達報告を行い、養護教諭の職務についての理解を深める。	1~4	12~1	オンライン
	3 ・学校保健における養護教諭の役割を理解し、その推進のためのスキルを身に付ける。	1~4	1~2	集合
	4 ・学校保健の課題について、実践報告を通して、専門的知識・技能を習得する。	1~4	1~2	集合

基本的資質						子ども理解						養護教諭の専門性						組織の運営と参画											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
				●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	○		○	○	○							●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

研修区分	4 中堅教員研修
目的	教育公務員特例法第24条の規定に基づき、学校園の教育に関し相当の経験を有し、教育活動および学校園運営の円滑かつ効果的な実施において中核的な役割を担う中堅教員に対し、その職務を遂行するうえで必要な資質・能力の向上を図る。

【共通研修】	
対象校種	全校園
対象者	中堅養護教諭研修該当者
備考	

研修名	研修のねらい	ステージ	実施月	実施方法	基本的資質																												
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
中堅教員研修	① ④ ・中堅教員研修に関わる講義と中堅教員研修の計画に関わる研究協議を通して、中堅教員としての自己の課題を見つめ直し、中堅教員として学校園における役割を理解する。 ・メンタルヘルスに関する理解を通して、心身ともに健康を維持して学校園運営に携わる方法を習得する。	3	5	集合 or オンライン	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	② ・学校園の教育目標を達成するために、学校園運営を円滑かつ効果的に実施する役割を担う中堅教員としての職務と責任について理解する。	3	7~1	オンデマンド	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○															●
	③ ・学校園の運営における安全管理・危機管理について理解を深め、災害・事故発生時において中核的な役割を担う中堅教員としての役割と責任について理解する。	3	7~1	オンデマンド	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○															●	○
	④ ・発達障がい等に関して、子ども理解に基づいた指導・支援の方法や子どもの課題に即した機能的・協働的な組織づくりについての知識を習得する。	3	7~1	オンデマンド	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○																○
	⑤ ・教育公務員としての使命や責任、守らなければならない法令等を理解し、法令遵守の中で、誠実かつ公正に職務を遂行する態度を身に付ける。 ・「教育振興基本計画」に基づき、人権尊重の精神と態度を養うとともに、心豊かな人間の育成をめざした教育を深化・充実させ、本市校園における教育の現状と課題について認識し、教職員としての豊かな人権感覚を培い、人権教育に関する知識を習得する。	3	7	オンデマンド	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○															○
	⑧ ④ ・研究授業・研究保育の実践研究発表会を通して、自己の教育実践の成果と課題を明確にし、指導力向上に係る知識・技能を習得する。	3	11	集合 or オンライン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	⑨ ・自己の教育的課題に応じて、講義や実践を通して教育に関する専門的な知識・技能を習得する。	3	7~1	オンデマンド					○	○																							○
⑩ ④ ・1年間の自己の教育実践を振り返り、成果と課題を明確にするとともに、次のキャリアステージに向けて目標を設定し、協議を通じて、今後の取組方法を習得する。	3	2	集合 or オンライン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

使 命 ・ 法 令	マ ナ ー ・ 一 般 常 識	人 権 教 育 の 推 進	学 校 の 推 進	省 察 す る 意 欲	受 容 的 把 握 度	実 態 の 伸 長	個 性 に 応 じ た 支 援	個 人 に 対 し た 行 動	問 題 の 解 決	人 間 関 係 の 形 成	保 健 室 の 経 営	健 康 相 談	健 康 診 断	救 急 処 置	疾 病 の 管 理 と 予 防	学 校 環 境 衛 生	専 門 性 を 活 か し た 指 導	教 材 研 究	考 え 表 現 す る 学 び	話 し 合 い の 学 び	め あ て を 振 り 返 る 学 び	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	情 報 共 有	協 働 意 識	学 校 保 健 組 織 活 動 と の 連 携	危 機 ・ 安 全 管 理	P D C A サ イ ク ル
-----------------------	--------------------------------------	---------------------------------	-----------------------	----------------------------	----------------------------	-----------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	-----------------------	---------------------------------	----------------------------	------------------	------------------	------------------	--------------------------------------	----------------------------	--	------------------	--------------------------------------	---------------------------------	--	---	------------------	------------------	--	---------------------------------	--------------------------------------

基本的資質						子ども理解						養護教諭の専門性											組織の運営と参画							
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29		
○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							○	○	○	○	○	○	●	
○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							○	○	○	○	○	○	●	○
○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
				○	○																									
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

対象校種	幼稚園																																				
対象者	養護教諭																																				
備考																																					
研修名	研修のねらい	ステージ	必修年次	実施月	実施方法	基本的資質						子ども理解						保育					組織の運営と参画														
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26						
幼稚園特別支援教育研修	1	・幼稚園における特別支援教育の視点を生かした指導や支援の方法を理解する。	1~4	-	6	オンデマンド					○	○	○	○	●	○				○																	○
	2	・幼稚園における実践の報告と事例検討を行い、効果的な指導・支援のあり方を理解する。	1~4	-	1	オンデマンド					○	○	○	○	○	●	○				○																

対象校種	小学校																																				
対象者	養護教諭																																				
備考																																					
研修名	研修のねらい	ステージ	必修年次	実施月	実施方法	基本的資質						子ども理解						学習指導					組織の運営と参画														
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29			
小学校特別支援教育研修		・小学校通常学級における特別支援教育の視点を生かした指導や支援の方法を理解する。	1~4	-	7	オンデマンド					○	○	○	○	○	●	○				○	○															○

対象校種	中学校																																				
対象者	養護教諭																																				
備考																																					
研修名	研修のねらい	ステージ	必修年次	実施月	実施方法	基本的資質						子ども理解						学習指導					組織の運営と参画														
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29			
中学校特別支援教育研修		・中学校通常学級における特別支援教育の視点を生かした指導や支援の方法を理解する。	1~4	-	7	オンデマンド					○	○	○	○	○	●	○				○	○															○

研修区分	6 人権教育研修
目的	人権教育の現状と課題について理解を深めるとともに、人権教育のあり方についての認識を深め、人権が尊重された学校園づくりを図る。

対象校種	全校園	
対象者	養護教諭	
備考		
研修名	研修のねらい	ステージ 必修年次 実施月 実施方法
コンプライアンス・人権教育研修	・教育公務員としての使命や責任、守らなければならない法令等を理解し、法令遵守の中で、誠実かつ公正に職務を遂行する態度を身に付ける。 ・様々な人権課題について理解を深め、人権を大切にしたい学校園づくりに必要な見識を深める。	1~4 全 7 オンデマンド
人権教育集中講座	・各校園の人権課題を把握し、課題解決に向けた企画・推進の中心的な役割を果たすための指導力を習得するとともに、実践的な人権教育の意識とスキルを習得する。	3~4 - 8 集合
日本語指導が必要な子どもの教育研修	・帰国・来日等の児童・生徒のよりよい支援のあり方について考え、日本語を母語としない子どもたちへの教育や在籍学級での教育を充実させるための指導力を身に付ける。	1~4 - 8 集合
	・帰国・来日等の児童・生徒のよりよい支援のあり方について考え、日本語を母語としない子どもたちへの教育や在籍学級での教育をより一層深化・充実させるための指導力を身に付ける。	1~4 - 8 集合

使命・法令	マナー・一般常識	人権教育の推進	人権教育の推進	学び続ける意欲	省察する姿勢	受容的態度	実態把握	個性の伸長	個に応じた支援	問題解決の行動	人間関係の形成	保健健康室の運営	健康相談	健康診断	救急処置	疾病の管理	学環境衛生	専門性を活かした指導	教材研究	考え表現する学び	話し合いの学び	めあてを振り返る学び	コミュニケーション共有	情報共有	協働意識	学校保健活動との連携	危機安全管理	PDCAサイクル	
基本的資質						子ども理解						養護教諭の専門性						組織の運営と参画											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	
			●	○	○	○																							
			○	●	○	○	○	○	○	○	○													○	○	○	○	○	
			○	●	○	○	○	○	○	○	○													○	○	○	○	○	

研修区分	10 主任・主事等研修
目的	主任・主事等の職務について理解を深め、主任・主事等としての資質の向上を図る。
備考	主任・主事・各担当等の職務に就いている中堅教員研修対象者は、中堅教員研修の選択研修とすることができる。

対象校種	小学校・中学校	
対象者	保健主事（養護教諭を含む）	
備考		
研修名	研修のねらい	ステージ 必修年次 実施月 実施方法
保健主事研修	・学校保健についての理解を深め、保健主事としての資質や能力を身に付ける。	2~4 - 7 集合

使命・法令	マナー・一般常識	人権教育の推進	人権教育の推進	学び続ける意欲	省察する姿勢	受容的態度	実態把握	個性の伸長	個に応じた支援	問題解決の行動	人間関係の形成	保健健康室の運営	健康相談	健康診断	救急処置	疾病の管理	学環境衛生	専門性を活かした指導	教材研究	考え表現する学び	話し合いの学び	めあてを振り返る学び	コミュニケーション共有	情報共有	協働意識	学校保健活動との連携	危機安全管理	PDCAサイクル	
基本的資質						子ども理解						養護教諭の専門性						組織の運営と参画											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	
				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●				○										

研修区分	II 養護教員研修
目的	学校園における児童・生徒の心身の健康や安全に関する課題に対応するために、養護教諭としての専門性を高め、その資質の向上を図る。

対象校種	全校園
対象者	養護教諭
備考	

研修名	研修のねらい	ステージ	必修年次	実施月	実施方法	基本的資質 / 子ども理解 / 養護教諭の専門性 / 組織の運営と参画																												
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
養護教員研修	・学校保健の課題について理解し、専門的知識を身に付けるとともに指導方法を習得する。	1~4	-	10	集合																													
養護教員実技研修	1 ・学校保健における養護教員の役割を理解し、現代的健康課題を抱える子どもたちへの支援方法を解決するための実践的指導力を身に付ける。	1~4	-	7	集合																													
	2 ① ⑤ ⑥ ・AEDの使用を含めた心肺蘇生法および応急手当について理解し、実習を通して、そのスキルを身に付ける。	1~4	-	7~11	集合																													
	3 ① ③ ④ ・保健管理や保健教育に活かすために、ICTに関するスキルを身に付ける。	1~4	-	8	集合																													
	4 ① ③ ④ ・教育情報利用パソコンの機能を使って保健教育教材を作成し、活用できる技術を習得する。	1~4	-	8	集合																													
	5 ・校園内における事故に対応するために、ケーススタディを通して、的確に対応できるスキルを身に付ける。	1~4	-	8	集合																													
	6 ・養護教員が、学校保健においてコーディネート力を発揮するためのスキルを身に付ける。	1~4	-	12	集合																													
	7 ・不登校を含む、精神衛生の重要性を理解し、子どもたちへの支援方法を習得する。	1~4	-	10~12	集合																													
養護教員課題別研修	1 ① ④ ・健康教育における養護教員の指導力を向上するためのスキルを習得する。	1~4	-	1~2	集合																													
	2 ・健康教育指導者養成研修健康コース受講者による各受講内容をオンラインにより伝達報告を行い、養護教員の職務についての理解を深める。	1~4	-	12~1	オンライン																													
	3 ・学校保健における養護教員の役割を理解し、その推進のためのスキルを身に付ける。	1~4	-	1~2	集合																													
	4 ・学校保健の課題について、実践報告を通して、専門的知識・技能を習得する。	1~4	-	1~2	集合																													

使 命 ・ 法 令	マ ナ ー ・ 一 般 常 識	人 権 教 育 の 課 題 進 行	学 校 の 課 題 進 行	省 察 的 的 把 持 の 姿 勢	受 容 的 把 持 の 姿 勢	実 態 的 把 持 の 姿 勢	個 人 的 把 持 の 姿 勢	個 人 的 把 持 の 姿 勢	問 題 的 把 持 の 姿 勢	人 間 的 把 持 の 姿 勢	保 健 的 把 持 の 姿 勢	健 康 的 把 持 の 姿 勢	健 康 的 把 持 の 姿 勢	救 急 的 把 持 の 姿 勢	疾 病 的 把 持 の 姿 勢	学 校 的 把 持 の 姿 勢	専 門 的 把 持 の 姿 勢	教 育 的 把 持 の 姿 勢	考 え 表 現 の 学 び	話 し 合 い の 学 び	め あ て を 振 り 返 る 学 び	コ ミュ ニ ケー ション	情 報 共 有	協 働 共 意	学 校 保 健 組 織 活 動 と の 連 携	危 機 ・ 安 全 管 理	P D C A サ イ クル
-----------------------	--------------------------------------	---	---------------------------------	---	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	--	---------------------------	------------------	------------------	--	---------------------------------	----------------------------------

基本的資質						子ども理解						養護教諭の専門性													組織の運営と参画														
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29											

研修区分	13 常勤講師研修
目的	常勤講師として必要な基本的知識を習得する。

【助教諭・常勤講師】					
対象校種	全校園				
対象者	助教諭・常勤講師・臨時講師（非常勤講師を除く）				
備考					
研修名	研修のねらい	ステージ	必修年次	実施月	実施方法
常勤講師研修	・本市校園における教育の現状と課題について認識するとともに、教育活動に必要な基本的知識を習得する。	-	-	7	オンデマンド
養護助教諭・臨時講師（養）採用1年未満研修	・講義や協議を通して養護教諭の職務について理解し、実務処理の方法を身に付ける。	-	-	4	集合

使命・法令	マナー・一般常識	人権教育の推進	人権教育の推進	学習者の意欲	省察する姿勢	受容的態度	実態把握	個性の伸長	個性に応じた支援	個別対応	問題解決	人間関係の形成	保健室の経営	健康相談	健康診断	救急処置	疾病の管理	学環境衛生	専門性を活かした指導	教材研究	考え表現する学び	話し合う学び	めあてを振り返る学び	コミュニケーション	情報共有	協働意識	学校保健活動との連携	危機・安全管理	P D C A サイクル
基本的資質						子ども理解						養護教諭の専門性						組織の運営と参画											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	
●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

研修区分	14 特別企画研修
目的	喫緊の教育課題に対応した研修により、課題解決のための知識・技能の向上を図る。

【教頭昇任予定者】					
対象校種	小学校・中学校				
対象者	教頭昇任予定者				
備考					
研修名	研修のねらい	ステージ	必修年次	実施月	実施方法
教頭昇任予定者研修	・学校運営における使命と役割を理解し、その職責を果たすための考え方や実務に関する知識を習得する。	4	-	2	集合

使命・法令	倫理教育の推進	人権教育の推進	人権教育の推進	自己伸長	情報収集	めざす学校の活用	各種調査の実現	安全・安全管理	危機・安全管理	地域社会等との連携・協働	情報発信	予算・情報管理	カリキュラム・マネジメント	メンタルヘルスマネジメント	コンプライアンスの遵守	ハラスメントの防止	職務遂行の管理	授業力の向上	配慮を要する子どもへの支援	保護者・地域との関係構築	研修の推進	適切な人材配置	資質の向上	教職員の評価	
基本的資質						学校経営・マネジメント																			
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	
○	○			○	○	○							○	○	○	○								●	

対象校種	全校園				
対象者	管理職・教員すべて				
備考					
研修名	研修のねらい	ステージ	必修年次	実施月	実施方法
応急手当普及員講習	① ⑤ ⑥ ・応急手当普及員として養成し、所属校の教職員に対し研修等を実施することにより、児童・生徒の事故等に的確に対応できる学校づくりの方法を習得する。	1~管	-	4	集合

基本的資質						子ども理解						養護教諭の専門性						組織の運営と参画										
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
○			○												●									○			○	

研修区分	16 首席・指導教諭・幼稚園主任研修
目的	首席・指導教諭・幼稚園主任として、その職務を理解するとともに、資質の向上を図る。

対象校種	全校園				
対象者	首席・指導養護教諭				
備考					
研修名	研修のねらい	ステージ	必修年次	実施月	実施方法
首席研修	・学校組織の中での首席としての役割を認識し、学校運営について積極的に取り組むことができる資質・能力を習得する。	4	-	8	集合
指導教諭研修	・指導教諭・指導養護教諭・指導栄養教諭としての職務について理解する。	4	-	8	集合

使 命 法 令	マ ナ ー ・ 一 般 常 識	人 権 教 育 の 推 進 課 題	学 校 の 推 進 意 欲	省 察 す る 姿 勢	受 容 的 把 握 度	実 態 の 伸 長	個 性 に 応 じ た 支 援	個 人 的 行 動	問 題 行 動	人 間 関 係 の 形 成	保 健 室 の 経 営	健 康 相 談	健 康 診 断	救 急 処 置	疾 病 の 管 理 と 予 防	学 校 環 境 衛 生	専 門 性 を 活 か し た 指 導	教 材 研 究	考 え 表 現 す る 学 び	話 し 合 い の 学 び	め あ て を 振 り 返 る 学 び	コ ミュ ニ ケー ション	情 報 共 有	協 働 意 識	学 校 保 健 組 織 活 動 と の 連 携	危 機 ・ 安 全 管 理	P D C A サイ クル		
基本的資質						子ども理解						養護教諭の専門性						組織の運営と参画											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
首席研修	○	○			○	○																		○	○	●	○	○	○
指導教諭研修	○	○			○	○							○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○						○

対象者	新任首席・新任指導養護教諭				
備考					
研修名	研修のねらい	ステージ	必修年次	実施月	実施方法
新任首席・新任幼稚園主任研修	・主幹教諭としての職務についての講義を通して、学校園組織の中での役割を認識し、学校園運営に主体的に参画する態度を身に付ける。	4	-	5	集合
新任指導教諭研修	・新任指導教諭としての職務について理解する。	4	-	7	集合

基本的資質						子ども理解						養護教諭の専門性						組織の運営と参画											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
新任首席・新任幼稚園主任研修	●	○			○	○																		○	○	○	○	○	○
新任指導教諭研修	●	○			○	○							○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○						○

教職員研修計画

栄養教諭 等

小 目 次

◇ 教員「基本」研修	
1 新任教員研修（1年目）	53
2 新任教員研修（2年目）	54
3 3・4・5年次教員研修	55
4 中堅教員研修	56
◇ 教員「専門」研修	
5 特別支援教育研修	57
6 人権教育研修	59
12 栄養教職員研修	59
14 特別企画研修	60
16 首席・指導教諭・幼稚園主任研修	60

◇ 教員「基本」研修

研修区分	I. 新任教員研修（1年目）【令和6年度採用】
目的	教育公務員特例法第23条の規定により職務の遂行に必要な事項に関する実践的な研修により、実践的指導力と使命感を養うとともに幅広い知見の獲得を図る。

使 命 マ ナ ー ・ 一 般 常 識 題 進 欲 勢	人 権 教 育 の 推 進 意 欲	学 び 続 け る 意 欲	省 察 的 な 意 識	受 容 的 な 態 度	実 践 的 な 意 識	個 人 的 な 意 識	個 人 的 な 意 識	問 題 行 動 の 意 識	人 間 関 係 の 意 識	安 全 心 の 意 識	学 校 給 食 の 管 理 の 意 識	学 校 給 食 の 管 理 の 意 識	給 食 の 指 導 の 意 識	教 科 等 の 指 導 の 意 識	個 別 的 な 指 導 の 意 識	考 え 表 現 す る 学 び の 意 識	話 し 合 い の 意 識	め あ て を 振 り 返 る 学 び の 意 識	コ ミュ ニ ケー ション の 意 識	情 報 共 有 の 意 識	協 働 意 識	保 護 者 ・ 地 域 と の 連 携 の 意 識	学 校 給 食 の 運 営 の 意 識	食 に 関 する 指 導 の 意 識	危 機 ・ 安 全 管 理 の 意 識	P D C A サ イ クル の 意 識
--	---	---------------------------------	----------------------------	----------------------------	----------------------------	----------------------------	----------------------------	---------------------------------	---------------------------------	----------------------------	--	--	--------------------------------------	---	---	---	---------------------------------	---	--	---------------------------------	------------------	---	--	--	--	---

【共通研修】	
対象校種	小学校・中学校
対象者	令和6年度採用栄養教諭
備考	

研修名	研修のねらい	ステージ	実施月	実施方法	基本的資質						子ども理解						栄養教諭の専門性						組織の運営と参画								
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
新任教員研修（1年目）	① ⑤ ⑥ ・新任教員研修の意義・目的、内容等を理解し、研修に対する意欲の向上をめざすとともに、教員としての責務を自覚し、充実した教育活動を実践するために必要な基礎的知識を習得する。	1	4	集合	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	① ④ ・仲間どうしが支え合い高め合う「学び」を実現するための、集団づくりの重要性についての知識を習得する。 ・学校給食を通して子どもに望ましい食習慣を身に付けさせるための基本的な事項について知識を習得する。	2	6	オンデマンド集合																											
	① ④ ・保護者、地域と互いに協力し合い、子どもの育成にあたるための信頼関係構築についての基本的な考え方を習得する。 ・心身ともに健康を維持し学校教育に携わることをめざし、メンタルヘルスに関する知識を習得する。	3	8	オンデマンド集合			●																								
	① ④ ・本市校園における人権教育の現状と課題を知り、様々な人権問題についての知識を習得する。 ・協議を通して連続する校園種間での連携した教育の重要性や各校園種の課題等を理解し、広い視野に立った判断力を高めたり、指導力を身に付けたりするための方法を習得する。	4	10～11	オンデマンド集合				●																							
	① ④ ・公務員としての使命を自覚し、コンプライアンス意識を醸成する。 ・1年間の自己の実践を振り返り、成果と課題を明確にすることを通じて、より実践的な指導力を高めるための方法を習得する。	5	1	オンデマンド集合	●	○																									●

【校園種別職種別研修】	
対象校種	小学校・中学校
対象者	令和6年度採用栄養教諭
備考	

研修名	研修のねらい	ステージ	実施月	実施方法	基本的資質						子ども理解						栄養教諭の専門性						組織の運営と参画								
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
栄養教諭新任研修	・学校給食の概要を知るとともに、食に関する指導の進め方、栄養教諭の役割について理解を深め、責務を自覚し、基礎的知識を習得する。	1	4	集合	●	○	○																								
	・学校給食の調理過程などの適切な衛生管理・食物アレルギー対応についての理解を深め、必要な知識を習得する。	2	5	オンデマンド集合																											
	・学校給食における栄養管理や大阪市の献立作成の体制について理解を深め、必要な知識を習得する。	3	7	オンデマンド集合				○																							
	・食に関する指導の授業研究に係る事項について、実践研究、研究協議を通して理解し、食に関する指導に係る工夫改善の方法を習得する。	4	9	オンデマンド集合				○																							
	・個別的な相談指導について理解を深め、食に関する健康課題を有する児童生徒に対する指導の方法を習得する。	5	10	オンデマンド集合				○																							
	・食に関する指導の実施において、他教職員や家庭・地域・学校園との連携について理解を深め、必要な指導方法を習得する。	6	12	オンデマンド集合				○																							

研修区分	2. 新任教員研修（2年目）【令和5年度採用】
目的	新任教員1年目で身に付けた基礎的・基本的な指導力を基に、教員2年目として教科等の実践的な指導技術力の向上を図る。

使	マ	人	人	学	省	受	実	個	個	問	人	安	学	学	給	教	個	考	話	め	コ	情	協	保	学	食	危	P								
命	ナ	権	権	び	察	容	態	性	に	問	間	全	校	校	食	食	科	別	え	し	あ	ミ	報	働	護	校	に	機	D							
・	一	教	教	続	す	的	把	の	応	に	係	・	給	給	の	等	な	表	合	て	ユ	共	意	者	に	・	C	A								
法	般	育	育	け	る	姿	態	支	じ	た	の	安	食	食	の	相	現	う	振	ニ	有	識	の	給	関	・	サ	イ								
令	常	の	の	る	意	勢	度	援	た	行	形	心	の	の	の	談	学	返	り	ケ	識	の	の	連	連	調	管	ク	ル							

【共通研修】							
対象校種	小学校・中学校						
対象者	令和5年度採用栄養教諭						
備考							
研修名	研修のねらい				ステージ	実施月	実施方法
新任教員研修（2年目）	6	① ④	・人権教育をより一層深化・充実するために、人権教育を推進するうえでの指導方法を習得し、子ども一人ひとりを尊重する態度を身に付け、学級集団作りにかさす。		1	5	オンデマンド 集合
	7	① ④	・地域における学習や講義などを通して、人権教育の推進について知識を習得し、教員としての豊かな人権感覚を身に付ける。		1	8	オンデマンド 集合
	8		・校園周辺地域の民間企業や社会福祉施設、事業所等での体験活動を通じて、学校教育外に視野を広げ、コミュニケーション能力を高めるとともに、地域の人々の思いや願いを受け止め、教育活動に活かすための能力を身に付ける。		1	夏季休業中	集合
	9	① ④	・新任教員研修のまとめとして、2年間の自己の教育実践を振り返り、成果と課題を明確にするとともに3・4・5年次に向けた目標を設定し、協議を通じて、より実践的な指導力や判断力を高めるための方法を習得する。 ・公務員としての使命を自覚し、コンプライアンス意識を醸成する。		1	2	オンデマンド 集合

基本的資質						子ども理解						栄養教諭の専門性						組織の運営と参画																		
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29								
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【校園種別職種別研修】							
対象校種	小学校・中学校						
対象者	令和5年度採用栄養教諭						
備考							
研修名	研修のねらい				ステージ	実施月	実施方法
栄養教職員実技研修			・食に関する指導や学校給食の管理の現状と課題を知り、講義と演習等を通して専門的知識を身に付け、知識・技能の向上を図る。		1	9	集合
栄養教諭新任研修	7		・食に関する指導の授業研究に係る事項について、実践研究、研究協議を通して理解し、効果的な指導・支援に係る工夫改善の方法を習得する。		1	11	オンデマンド 集合

基本的資質						子ども理解						栄養教諭の専門性						組織の運営と参画																		
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29								
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

研修区分	3. 3・4・5年次教員研修
目的	教員としての高い専門的知識・技能を習得し、自己の指導力向上を図る。

【校園種別職種別研修】	
対象校種	小学校・中学校
対象者	3・4・5年次栄養教諭研修該当者
備考	

研修名	研修のねらい	ステージ	実施月	実施方法
3・4・5年次栄養教員研修	・自己の学校組織における役割について意識を高めるとともに、栄養教員としての高い専門的知識・技能を習得する。	2	11	オンデマンド集合
栄養教員特別支援教育研修	・配慮を要する子どもに対する基礎的なアセスメント方法、指導方法や支援方法を習得する。	2	7	オンデマンド
コンプライアンス・人権教育研修(3年次)	・教育公務員としての使命や責任、守らなければならない法令等を理解し、法令遵守の中で、誠実かつ公正に職務を遂行する態度を身に付ける。 ・様々な人権課題について理解を深め、人権を大切にしたい学校園づくりに必要な見識を深める。	2	7	オンデマンド
コンプライアンス・人権教育研修(4年次)	・教育公務員としての使命や責任、守らなければならない法令等を理解し、法令遵守の中で、誠実かつ公正に職務を遂行する態度を身に付ける。 ・様々な人権課題について理解を深め、人権を大切にしたい学校園づくりに必要な見識を深める。	2	7	オンデマンド
コンプライアンス・人権教育研修(5年次)	・教育公務員としての使命や責任、守らなければならない法令等を理解し、法令遵守の中で、誠実かつ公正に職務を遂行する態度を身に付ける。 ・様々な人権課題について理解を深め、人権を大切にしたい学校園づくりに必要な見識を深める。	2	7	オンデマンド

使命・法令	マナー・一般常識	人権教育の推進	学び続ける意欲	省察する姿勢	受容的態度	実態把握	個性の伸長	個に応じた支援	問題行動	人間関係の形成	安全・安心	学校給食の栄養管理	学校給食の衛生管理	給食の時間の指導	教科等の指導	個別的な相談指導	考え表現する学び	話し合う学び	めあてを振り返る学び	コミュニケーション	情報共有	協働意識	保護者・地域との連携	学校給食の運営	食に関する指導の連携・調整	危機・安全管理	PDCAサイクル	
																												基本的資質
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
				○	○				○					●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○		○	○	○				●																		○	○
		●	○	○	○																							
		●	○	○	○																							
		●	○	○	○																							

研修区分	4. 中堅教員研修
目的	教育公務員特例法第24条の規定に基づき、学校園の教育に関し相当の経験を有し、教育活動および学校園運営の円滑かつ効果的な実施において中核的な役割を担う中堅教員に対し、その職務を遂行するうえで必要な資質・能力の向上を図る。

【共通研修】	
対象校種	小学校・中学校
対象者	中堅栄養教諭研修該当者
備考	

研修名	研修のねらい	ステージ	実施月	実施方法	項目																														
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29		
中堅教員研修	① ④ ・中堅教員研修に関わる講義と中堅教員研修の計画に関わる研究協議を通して、中堅教員としての自己の課題を見つめ直し、中堅教員として学校園における役割を理解する。 ・メンタルヘルスに関する理解を通して、心身ともに健康を維持して学校園運営に携わる方法を習得する。	3	5	集合 or オンライン	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	2 ・学校園の教育目標を達成するために、学校園運営を円滑かつ効果的に実施する役割を担う中堅教員としての職務と責任について理解する。	3	7~1	オンデマンド	○																													●	
	3 ・学校園の運営における安全管理・危機管理について理解を深め、災害・事故発生時において中核的な役割を担う中堅教員としての役割と責任について理解する。	3	7~1	オンデマンド	○																												●	○	
	4 ・発達障がい等に関して、子ども理解に基づいた指導・支援の方法や子どもの課題に即した機能的・協働的な組織づくりについての知識を習得する。	3	7~1	オンデマンド	○	○																												○	
	5 ・教育公務員としての使命や責任、守らなければならない法令等を理解し、法令遵守の中で、誠実かつ公正に職務を遂行する態度を身に付ける。 ・「教育振興基本計画」に基づき、人権尊重の精神と態度を養うとともに、心豊かな人間の育成をめざした教育を深化・充実させ、本市校園における教育の現状と課題について認識し、教職員としての豊かな人権感覚を培い、人権教育に関する知識を習得する。	3	7	オンデマンド	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○																○	
	① ④ ・研究授業・研究保育の実践研究発表会を通して、自己の教育実践の成果と課題を明確にし、指導力向上に係る知識・技能を習得する。	3	11	集合 or オンライン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	9 ・自己の教育的課題に応じて、講義や実践を通して教育に関する専門的な知識・技能を習得する。	3	7~1	オンデマンド																														○	
	① ④ ・1年間の自己の教育実践を振り返り、成果と課題を明確にするとともに、次のキャリアステージに向けて目標を設定し、協議を通じて、今後の取組方法を習得する。	3	2	集合 or オンライン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

使 マ 人 人 学 省 受 実 個 個 問 人 安 学 学 給 教 個 考 話 め コ 情 協 保 学 食 危 P 命 ナ 権 権 び 察 容 性 に 問 間 全 校 校 食 給 科 別 え し あ ミ 報 働 護 校 に 機 D ・ 一 課 推 進 意 欲 勢 度 握 長 援 動 成 心 理 管 理 指 導 指 導 指 導 学 び 学 び シ ョ ン 有 論 選 抜 整 理 シ ク ル	使 マ 人 人 学 省 受 実 個 個 問 人 安 学 学 給 教 個 考 話 め コ 情 協 保 学 食 危 P 命 ナ 権 権 び 察 容 性 に 問 問 間 全 校 校 食 給 科 別 え し あ ミ 報 働 護 校 に 機 D ・ 一 課 推 進 意 欲 勢 度 握 長 援 動 成 心 理 管 理 指 導 指 導 指 導 学 び 学 び シ ョ ン 有 論 選 抜 整 理 シ ク ル	使 マ 人 人 学 省 受 実 個 個 問 人 安 学 学 給 教 個 考 話 め コ 情 協 保 学 食 危 P 命 ナ 権																														
--	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	--

◇ 教員「専門」研修

研修区分	5 特別支援教育研修
目的	発達障がいを含む障がいへの理解を深め、障がいのある幼児児童生徒への適切な指導・支援を行うことができるよう、教員に必要な研修を実施し特別支援教育に関する専門性の向上を図る。

対象校種	全校園
対象者	栄養教諭
備考	

研修名	研修のねらい	ステージ	必修年次	実施月	実施方法	基本的能力																													
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	
特支担当者必修研修	1	・特別支援教育の教育課程についての基本事項を理解し、適切な指導方法や支援方法を習得する。	1~4	-	4	オンデマンド	○				○	○	○	○	○	●																			○
	2	・個別の指導計画のPDCAサイクルを理解し、教育的ニーズに応じた自立活動の実践的な指導方法や支援方法を習得する。	1~4	-	5	オンデマンド																												○	
	3	・個別の教育支援計画・個別の指導計画を活用した、効果的な指導方法や支援方法、適切な連携方法を習得する。	1~4	-	6	オンデマンド																												○	
インクルーシブ教育研修	1	・発達に課題のある子どもの行動面の指導支援の方法を習得する。	1~4	-	4	オンデマンド																											○		
	2	・発達に課題のある子どもの自己理解・自己決定を促す指導支援の方法を習得する。	1~4	-	4	オンデマンド																											○		
	3	・障がいの特性を理解し、特性や障がいに応じた学習面の指導や支援の方法を習得する。(国語・ことば)	1~4	-	5	集合																											○		
	4	・障がいの特性を理解し、特性や障がいに応じた学習面の指導や支援の方法を習得する。(算数・かず)	1~4	-	5	集合																											○		
	5	・発達障がい、愛着障がいの特性を理解し、指導支援の方法を習得する。	1~5	-	6	集合																											○		
	6	・特別支援教育の視点からのユニバーサルデザインに基づく学級づくりについて学び、効果的な指導支援の方法を習得する。	1~4	-	7	集合																											○		
	7	・事例を通して、効果的なソーシャルスキルの指導方法を習得する。	1~4	-	8	集合																											○		
	8	・言語障がいのある子どもに対する理解を深め、事例を通して効果的な指導支援の方法を習得する。	1~4	-	10	集合																											○		
	9	・行動分析の理論に関する知識を深め、事例を通して効果的な指導支援の方法を習得する。	1~4	-	11	集合																											○		
	10	・思春期の子どもに対する心理面や行動面での理解を深め、事例を通して効果的な指導支援の方法を習得する。	1~4	-	12	集合																											○		

使命法令	マナー・一般常識	人権教育の一課題	人権教育の推進	学習意欲	省察する姿勢	受容的態度	実態把握	個性の伸長	個性に応じた支援	集団規律の指導	規範問題の形成	人間関係の安心	安全安心	指導計画	授業研究・改善	個別に合わせた指導	授業評価	話し合いの学び	めあてを振り返る学び	コミュニケーション	情報共有	協働意識	保護者・地域連携	危機安全管理	PDCAサイクル
------	----------	----------	---------	------	--------	-------	------	-------	----------	---------	---------	---------	------	------	---------	-----------	------	---------	------------	-----------	------	------	----------	--------	----------

基本的資質						子ども理解										学習指導								組織の運営と参画											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29							
○			○	○	○				○						●	○																			○
				○	○				○						●	○																			○
				○	○				○						●	○	●	○	○																○
				○	○				○				○	○	●	○	●	○	○																○
				○	○				○	○			○	○				●																	○
				○	○				○	○			○	○				●																	○
				○	○				○	○			○	○				●	○	○															○
				○	○				○	○			○	○				●	○	○															○
				○	○				○	○			○	○				●	○	○															○

研修区分	6 人権教育研修
目的	人権教育の現状と課題について理解を深めるとともに、人権教育のあり方についての認識を深め、人権が尊重された学校づくりを図る。

対象校種	全校園				
対象者	栄養教職員				
備考					
研修名	研修のねらい	ステージ	必修年次	実施月	実施方法
コンプライアンス・人権教育研修	・教育公務員としての使命や責任、守らなければならない法令等を理解し、法令遵守の中で、誠実かつ公正に職務を遂行する態度を身に付ける。 ・様々な人権課題について理解を深め、人権を大切にしたい学校づくりに必要な見識を深める。	1~4	全	8	オンデマンド
人権教育集中講座	・各校園の人権課題を把握し、課題解決に向けた企画・推進の中心的な役割を果たすための指導力を習得するとともに、実践的な人権教育の意識とスキルを習得する。	3~4	-	8	集合
日本語指導が必要な子どもの教育研修	・帰国・来日等の児童・生徒のよりよい支援のあり方について考え、日本語を母語としない子どもたちへの教育や在籍学級での教育を充実させるための指導力を身に付ける。	1~4	-	8	集合
	・帰国・来日等の児童・生徒のよりよい支援のあり方について考え、日本語を母語としない子どもたちへの教育や在籍学級での教育をより一層深化・充実させるための指導力を身に付ける。	1~4	-	8	集合

使 命 ・ 法 令	マ ナ ー ・ 一 般 常 識	人 権 教 育 の 課 題 進 展	人 権 教 育 の 推 進	学 校 の 現 状 と 課 題	省 察 的 姿 勢	受 容 的 姿 勢	実 態 把 握	個 性 の 伸 長	個 人 に 対 し た 支 援	問 題 の 行 動 成 果	人 間 関 係 の 形 成	安 全 心	学 校 給 食 の 管 理	学 校 給 食 の 衛 生 管 理	給 食 の 時 間 の 指 導	教 科 等 の 指 導	個 別 的 な 相 談 指 導	考 え 表 現 す る 学 び	話 し 合 う 学 び	め あ て を 振 り 返 る 学 び	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	情 報 共 有	協 働 意 識	保 護 者 ・ 地 域 と の 連 携	学 校 給 食 の 運 営	食 に 関 する 指 導 の 連 携 ・ 調 整	危 機 ・ 安 全 管 理	P D C A サイ クル
基本的資質						子ども理解						栄養教諭の専門性						組織の運営と参画										
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
			●	○	○																							
			○	●	○	○	○	○		○	○	○										○	○	○				○
			○	●	○	○	○	○	○	○	○	○												○	○			○

研修区分	12 栄養教職員研修
目的	栄養教職員としての専門性と役割についての理解を深め、食に関する指導や学校給食の管理を遂行するための指導力や管理能力の向上を図る。

対象校種	小学校・中学校				
対象者	栄養教諭				
備考	栄養教職員実技研修は、新任教員研修（2年目）必修・栄養教職員課題別研修は、中堅教員研修選択研修				
研修名	研修のねらい	ステージ	必修年次	実施月	実施方法
栄養教職員実技研修	・食に関する指導や学校給食の管理の現状と課題を知り、講義と演習等を通して専門的知識を身に付け、知識・技能の向上を図る。	1~4	2	9	集合
栄養教職員課題別研修	・食に関する指導や学校給食の管理の現状と課題を知り、オンデマンド研修による講義等により専門的知識を身に付け、指導力や管理能力の向上を図る。	1~4	-	6	オンデマンド
	・食に関する指導や学校給食の管理の現状と課題を知り、講義等により専門的知識を身に付け、指導力や管理能力の向上を図る。	1~4	-	10	オンデマンド 集合
	・食に関する指導や学校給食の管理の現状と課題を知り、オンデマンド研修による講義等により専門的知識を身に付け、指導力や管理能力の向上を図る。	1~4	-	2	オンデマンド

使 命 ・ 法 令	マ ナ ー ・ 一 般 常 識	人 権 教 育 の 課 題 進 展	人 権 教 育 の 推 進	学 校 の 現 状 と 課 題	省 察 的 姿 勢	受 容 的 姿 勢	実 態 把 握	個 性 の 伸 長	個 人 に 対 し た 支 援	問 題 の 行 動 成 果	人 間 関 係 の 形 成	安 全 心	学 校 給 食 の 管 理	学 校 給 食 の 衛 生 管 理	給 食 の 時 間 の 指 導	教 科 等 の 指 導	個 別 的 な 相 談 指 導	考 え 表 現 す る 学 び	話 し 合 う 学 び	め あ て を 振 り 返 る 学 び	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	情 報 共 有	協 働 意 識	保 護 者 ・ 地 域 と の 連 携	学 校 給 食 の 運 営	食 に 関 する 指 導 の 連 携 ・ 調 整	危 機 ・ 安 全 管 理	P D C A サイ クル
基本的資質						子ども理解						栄養教諭の専門性						組織の運営と参画										
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
			○	○	○	○	○	○	○			○										○	○					○
			○	○		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			○	○		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

研修区分	14 特別企画研修
目的	喫緊の教育課題に対応した研修により、課題解決のための知識・技能の向上を図る。

【教頭昇任予定者】					
対象校種	小学校・中学校				
対象者	教頭昇任予定者				
備考					
研修名	研修のねらい	ステージ	必修年次	実施月	実施方法
教頭昇任予定者研修	・学校運営における使命と役割を理解し、その職責を果たすための考え及び実務に関する知識を習得する。	4	-	2	集合

使命・法令	倫理観	人権教育推進計画	人権教育の推進	自己報知の集	情報収集	めざまし学校園の実現	各種調査の活用	安全・安全管理	危機・安全	地域社会等との連携・協働	情報発信	予算・情報管理	カリキュラム・マネジメント	メンタルヘルスマネジメント	コンプライアンスの遵守	ハラスメントの防止	職務遂行の管理	授業力の向上	配慮を要する子どもへの支援	保護者・地域との関係構築	研修の推進	適切な人材配置	資質の向上	教職員の評価	
基本的資質						学校経営・マネジメント																			
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	
○	○			○	○	○							○	○	○		○								●

対象校種	全校園				
対象者	管理職・教員すべて				
備考					
研修名	研修のねらい	ステージ	必修年次	実施月	実施方法
応急手当普及員講習	① ⑤ ⑥ ・応急手当普及員として養成し、所属校の教職員に対し研修等を実施することにより、児童・生徒の事故等に的確に対応できる学校づくりの方法を習得する。	1~管	-	4	集合

基本的資質						子ども理解						栄養教諭の専門性						組織の運営と参画										
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
○			○									○										○						●

研修区分	16 首席・指導教諭・幼稚園主任研修
目的	首席・指導教諭・幼稚園主任として、その職務を理解するとともに、資質の向上を図る。

対象校種	小学校・中学校				
対象者	首席・指導栄養教諭				
備考					
研修名	研修のねらい	ステージ	必修年次	実施月	実施方法
首席研修	・学校組織の中での首席としての役割を認識し、学校運営について積極的に取り組むことができる資質・能力を習得する。	4	-	8	集合
指導教諭研修	・指導教諭・指導養護教諭・指導栄養教諭としての職務について理解する。	4	-	8	集合

使命・法令	マナー・一般常識	人権教育の推進	人権教育の推進	学び続ける意欲	省察する姿勢	受容的態度	実態把握	個性の伸張	個性の伸張	個別対応	人間関係の形成	安全安心	学校給食の安全管理	学校給食の衛生管理	給食の時間の指導	教科等の指導	個別的な相談指導	考え表現する学び	話し合い返る学び	めあてを振り返る学び	コミュニケーション	情報共有	協働意識	保護者・地域との連携	学校給食の運営	食に関する指導・調整	危機・安全管理	P D C A サイクル
基本的資質						子ども理解						栄養教諭の専門性						組織の運営と参画										
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
○	○			○	○									○	○								○	○	●	○	○	○
○	○			○	○									○	○	●	○	○	○	○	○	○					○	

対象校種	小学校・中学校				
対象者	新任首席・新任指導栄養教諭				
備考					
研修名	研修のねらい	ステージ	必修年次	実施月	実施方法
新任首席・新任幼稚園主任研修	・主幹教諭としての職務についての講義を通して、学校園組織の中での役割を認識し、学校園運営に主体的に参画する態度を身に付ける。	4	-	5	集合
新任指導教諭研修	・新任指導教諭としての職務について理解する。	4	-	7	集合

基本的資質						子ども理解						栄養教諭の専門性						組織の運営と参画										
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
●	○			○	○																		○	○	○	○	○	
●	○			○	○									○	○	○	○	○	○	○	○	○					○	

教職員研修計画

管 理 職

小 目 次

◇ 教員「専門」研修

8	学力向上支援チーム事業に関わる研修	63
14	特別企画研修	63
15	管理職研修	64

研修区分	8 学力向上支援チーム事業に関わる研修
目的	子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けた授業改善および各校における若手教員育成に向けた組織的な支援体制づくりを学び、指導力の向上を図る。

【管理職・教員すべて】				
対象校種	小学校・中学校			
対象者	管理職・教員すべて			
備考	小・中学校より各1名必修（幼稚園は希望する教員）			
研修名	研修のねらい	ステージ	実施月	実施方法
カリキュラム・マネジメント研修	・校長のリーダーシップのもと、組織的、計画的に「カリキュラム・マネジメント」を展開するための手立て、カリキュラムの自己点検・評価に関する手法等を習得する。	3～管	未定	オンデマンド

使命・法令	倫理観	人権教育推進計画	人権教育の推進	自己伸長	情報収集	めざす学校園の実現	各種調査の活用	安全・安全管理	危機・安全管理	地域社会等との連携・協働	情報発信	予算・情報管理	カリキュラム・マネジメント	メンタルヘルスマネジメント	コンプライアンスの遵守	ハラスメントの防止	職務遂行の管理	授業力の向上	配慮を要する子どもへの支援	保護者・地域との関係構築	研修の推進	適切な人材配置	資質向上	教職員の評価
基本的資質						学校経営・マネジメント																		
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
○	○			○	○	○	○				○	○	●				○			○	○	○	○	○

研修区分	14 特別企画研修
目的	喫緊の教育課題に対応した研修により、課題解決のための知識・技能の向上を図る。

【校園長昇任予定者】				
対象校種	全校園			
対象者	校園長昇任予定者			
備考				
研修名	研修のねらい	ステージ	実施月	実施方法
校園長昇任予定者研修	・組織マネジメントの代表的な手法に、学校園で活用できる様々な要素を加え、校園長としての組織マネジメントの考え方と進め方を習得する。	管1	2	集合

使命・法令	倫理観	人権教育推進計画	人権教育の推進	自己伸長	情報収集	めざす学校園の実現	各種調査の活用	安全・安全管理	危機・安全管理	地域社会等との連携・協働	情報発信	予算・情報管理	カリキュラム・マネジメント	メンタルヘルスマネジメント	コンプライアンスの遵守	ハラスメントの防止	職務遂行の管理	授業力の向上	配慮を要する子どもへの支援	保護者・地域との関係構築	研修の推進	適切な人材配置	資質向上	教職員の評価
基本的資質						学校経営・マネジメント																		
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
○	○			○	○	○	○				○	○	●	○			○			○	○	○	○	○

【管理職・教員すべて】				
対象者	管理職・教員すべて			
備考				
研修名	研修のねらい	ステージ	実施月	実施方法
応急手当普及員講習	① ⑤ ⑥ ・応急手当普及員として養成し、所属校の教職員に対し研修等を実施することにより、児童・生徒の事故等に的確に対応できる学校づくりの方法を習得する。	1～管	4	集合

基本的資質						学校経営・マネジメント																		
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
○	○			○	○				●														○	

研修区分	15 管理職研修
目的	今日的な教育課題を踏まえ、管理職に求められる学校園経営全般にわたる専門的資質の向上を図る。

使命・法令	倫理観	人権教育推進計画	人権教育の推進	自己伸長	情報収集	めざます学校園の実現	各種調査の活用	安全・安全管理	危機・安全管理	地域社会等との連携・協働	情報発信	予算・情報管理	カリキュラム・マネジメント	メンタルヘルスマネジメント	コンプライアンスの遵守	ハラスメントの防止	職務遂行の管理	授業力の向上	配慮を要する子どもへの支援	保護者・地域との関係構築	研修の推進	適切な人材配置	資質向上	教職員の評価
-------	-----	----------	---------	------	------	------------	---------	---------	---------	--------------	------	---------	---------------	---------------	-------------	-----------	---------	--------	---------------	--------------	-------	---------	------	--------

【校園長】					
対象校種	全校園				
対象者	校園長				
備考					
研修名	研修のねらい	ステージ	実施月	実施方法	
校園長研修	1	① ③ ④ ・管理職としての資質を高めるため、「管理職としての資質の向上に関する指標」をもとに学校園で起こり得る様々な事象や問題に関する知識や対応の方法を理解する。	管2	9	集合
	2	・管理職としての資質を高めるため、「管理職としての資質の向上に関する指標」をもとに自身の資質の向上に応じた研修を選択し、学校園運営の向上に向けた方法を習得する。	管2	11～12	オンデマンド

基本的資質						学校経営・マネジメント																			
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	
○	○	○	○	○	○	○	○	●	○				○		○	○	○		○	○		○	○		
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

対象校種	幼稚園				
対象者	園長				
備考					
研修名	研修のねらい	ステージ	実施月	実施方法	
園長研修	1	・幼稚園教育要領の実施にあたり、幼稚園教育・保育に関する内容の充実について理解する。	管2	8	集合
	2	・多角的な視点から、幼稚園運営に関する知識理解を深め、特色ある幼稚園づくりに向けたマネジメントについて理解する。	管2	2	集合

基本的資質						学校経営・マネジメント																			
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	
○	○			○	○	○			○	○			●					○	○			○	○		
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

対象校種	全校園			
対象者	新任校園長			
備考				
研修名	研修のねらい	ステージ	実施月	実施方法
新任校園長研修	・管理職としての資質を高めるため、校園管理運営の基本的な諸課題や留意すべき事項について理解する。また、各校園の現状と課題を交流し、その対応や解決策を考え、方法を習得する。	管2	4	オンデマンド 集合

基本的資質						学校経営・マネジメント																			
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

対象校種	小学校・中学校				
対象者	新任校長				
備考					
研修名	研修のねらい	ステージ	実施月	実施方法	
新任校長研修（文部科学省主催）	1	・管理職としての資質を高めるため、学校長の職務について理解する。	管2	6	オンデマンド
	2	・管理職としての資質を高めるため、1年間の自己の実践を振り返り、成果と課題を明確にすることで、より効果的な学校運営を行う方法を習得する。	管2	2	オンデマンド

基本的資質						学校経営・マネジメント																			
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	
●	○			○		○			○	○	○	○	○				○		○	○		○	○		
○	○		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

【管理職】																																
対象校種	全校園					基本的資質						学校経営・マネジメント																				
対象者	校長・准校長・園長・副校長・教頭					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25		
備考																																
研修名	研修のねらい				ステージ	実施月	実施方法																									
コンプライアンス・人権教育研修	<ul style="list-style-type: none"> ・教育公務員としての使命や責任、守らなければならない法令等を理解し、法令遵守の中で、誠実かつ公正に職務を遂行する態度を身に付ける。 ・様々な人権課題について理解を深め、人権を大切にしたい学校園づくりに必要な見識を深める。 				管1・2	7	オンデマンド	○	○	○	●																					

【学校園運営】																																
対象校種	全校園					基本的資質						学校経営・マネジメント																				
対象者	校長・准校長・園長・副校長・首席・幼稚園主任					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25		
備考																																
研修名	研修のねらい				ステージ	実施月	実施方法																									
学校園運営研修	1	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育の教育課程およびインクルーシブ教育推進のための管理職の役割について理解する。 				管1・2	未定	オンデマンド	○	○	○	○	○	○			○	○			○	●		○		○	○	○	○	○	○	
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・管理職の方針のもと、学校園全体で取り組む道徳教育を充実させるための方法について理解する。 				管1・2	10	オンデマンド	○	○			○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○			○					
特別企画研修	※緊急な課題が生じたときに実施																															

【副校長・教頭・幼稚園主任】																																
対象校種	全校園					基本的資質						学校経営・マネジメント																				
対象者	副校長・教頭・幼稚園主任					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25		
備考																																
研修名	研修のねらい				ステージ	実施月	実施方法																									
副校長・教頭・幼稚園主任研修	1	<ul style="list-style-type: none"> ・学校園運営に関する見識を深め、教職員の育成に関する知識・技能を習得する。 				管1	9	集合	○	○			○	○	○			○	○	○	○	●	○	○	○			○	○	○	○	
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・人権尊重の学校園づくりに関する見識を深め、教職員の育成に関する知識・技能を習得する。 				管1	6~2	集合	○	○	○	●	○	○			○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

【副校長・教頭】																																
対象校種	小学校・中学校					基本的資質						学校経営・マネジメント																				
対象者	新任副校長・教頭					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25		
備考																																
研修名	研修のねらい				ステージ	実施月	実施方法																									
新任副校長・教頭研修	1	<ul style="list-style-type: none"> ・管理職としての資質を高めるため、各校種の教育推進上の諸課題について認識を深め、学校の管理運営に関する知識を習得する。 				管1	5	オンデマンド	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・管理職としての資質を高めるため、学校の管理運営に関する基本的な諸課題や留意すべき事項について理解する。 				管1	7	集合	○	○			○	○			○	○			○	○	○	○						○		
	3	<ul style="list-style-type: none"> ・管理職としての資質を高めるため、学校の管理運営に関する「情報管理」等の知識と技能を習得する。 				管1	8	オンデマンド	○	○			○	○	○	○					○	○	○	○						○		